新京日日新聞　夕刊　三月十一日
發行所　新京日日新聞社
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　永越内之介

縣の廢合分置等民政部愼重協議
各省總務廳長會議で大綱方針決定せん

曩きに十省長會議に於て民政部大臣は第二次地方行政區劃の刷新策として縣の廢合分置を行ふべきを

指示 したが爾來民政部行政科では實行方針確定の爲資料の蒐集に着手し各省縣よりの情勢報告並に意見書等もどし〳〵集りつゝあるのでこれを參考として改革方針を樹て來る十五六兩日開催される十省總務廳長會議に於て右方針を指示すると共に各廳長の意見並に希望事項の開陳を求め大綱方針を決定する模樣である、而して本省は改革方針を授けるに止め各省公署の手に依つて廢合分置の具體案を作成する段取りとなるが改革方針は治安問題、縣財政問題、民族問題等に留意し又中央集權下に於ける出先機關としての機能を持たすべく

一、縣の廢合分置は經濟、交通、物產の中心地を基準とし各縣財政を出來る丈け平均せしめる如く區劃し併せて治安維持に便なる如く考慮す

一、五族協和の建前から雜居地に於ける區劃には特に考慮を拂ふ

一、縣公署は經濟、交通並に地理的にも縣の中心となるべき地を選ぶ

等を根本方針とし且つ民土風習を尊重して行はれるものとみられる、更に縣の廢合分置と相俟つて縣制の改革を行ひ全省一齊なる縣制を施行し中央集權下に於ける現地機關としての機能を充分發揮せしむると共に將來縣自治制の

確立 を期する上に於て適切妥當なる制度の改革を行ふ方針の下に目下本省行政科に於て原案の作成に沒頭してゐる

議會會期延長不可避 貴族院側觀測

【東京國通】今議會は後廿日を殘すのみであるが、貴族院側では重要法案が未だ衆議院で審議中で、爆彈動議の後始末たる第二豫備金追加增額案も提出されぬ故 この情勢では會期延長は免れぬとの觀測有力である

治法撤廢 第二回滿洲國委員會

滿洲國治外法權撤廢對策委員會第二回準備委員會は遠藤委員長、大達法制局長官以下各委員、幹事二十餘名出席の下に九日午後二時から國務院會議室において開催、法制、警察諸令、税制の整備に關する各分科會委員の持ち寄り要綱

紡聯の輸出割當權參與問題紛糾

【東京國通】大日本紡績聯合會の對蘭印綿布輸出割當權參與問題は紡績聯合會對輸出組合双方の主張全く相反して紛糾を極め過般開かれた官民協議會並に委員會でも議論沸騰して益々對立尖銳化し妥協困難なる實情に陷つて居るが、紡聯の割當權參與要求に對して商工省當局は頗る不滿の意を表して居る、即ち輸出統制は輸出組合が組合法の定むるところに從つて行ふを根本原則として居り組合法の條文にも之が明記あるところであつて生產者團體たる紡聯が組合外にあつて輸出割當權を獲得せんとすることはさらでだに對外通商問題が八釜敷い折柄政府が折角輸出統制に腐心して居ることを水泡に歸し統制を紊す結果ともなる、仍つて商工當局では此の間にあつて紡聯の輸出組合加入を勸告して妥協成立に導いたものであるが紡聯側の容認するところとならず、十四、十五兩日開催の染色統制協議會に於て解決すべく持越されたが商工當局としては輸出組合法の精神に基いて飽迄現狀のまま紡聯の割當權參與には反對意向を持して臨む筈である

シャム皇族御來朝

【神戸國通】シャム皇族ムンチニヤラクシナカラ殿下には隨員五名を隨へさせられ瑞穗丸で十日午前七時半御入港、午後零時廿分三宮驛より御東上あらせられた

あす十二日は孫文十年祭

【東京國通】日本文化協會では十二日が孫文の十年記念日に當るので青年館大講堂で記念會を開き廣田外相、頭山滿氏等、支那側より蔣公使等出席の筈である

四月四日より五日間 師團長會議開催
統制强化問題懇談

【東京國通】陸軍では議會閉會後來る四月四日から八日まで五日間、東京に朝香近衞、東久邇第四、兩師團長宮殿下始め朝鮮、臺灣兩軍司令官及び各師團長、滿洲派遣師團留守司令官を召集して師團長會議を開催する事になつたが、同會議では陸軍三長官から夫々所管事項に就き訓示が行はれ、林陸相は今議會で協贊を得た事項につき說明を爲すと共に部内の統制强化に關しても各軍司令官、師團長と懇談するものと觀られて居る、尙兩軍司令官及び師團長一同は四月六日御入京遊ばされる滿洲國皇帝陛下に謁見仰せつけられる事になつて居る

ギリシヤの反亂 遂に決戰の幕
革命軍の陣營攪亂

【サロニカ九日發國通】政府討征軍總指揮コンヂリス將軍は九日午後麾下の重砲隊及び飛行隊に對し一齊に砲擊開始を命令、ストウルマ河を挾んで政府軍對革命軍の最後の決戰の幕は愈々切つて落された攻擊開始に當り將軍は左の如き聲明書を發表した

ストウルマ河を挾んで三月五日來革命軍と對峙中の政府軍は九日天候稍々恢復すると共に一齊に攻勢に轉じ政府軍重砲榴彈砲隊は敵戰線に砲火を集中、政府空軍も之と相呼應して敵戰線の背後を衝き爆彈投下によつて革命軍陣營を攪亂し甚大な損傷を與へつゝある

革命軍海軍を南下

【サロニカ九日發國通】革命軍は政府軍の背後を衝かしめるため自派海軍をテッサリア地方に南下せしめ政府軍を砲擊せしめる策戰を執つた

革命軍は爆彈投下に苦戰

【サロニカ九日發國通】ストウルマ河を挾んで對峙するギリシヤ政府軍と革命軍の一大決戰は九日午後遂に火蓋を切り全線に亘り激戰展開され革命軍は空軍を政府軍の手に握られてゐるだけに爆彈降雨下に非常な苦戰をして居るが、肉彈戰を展開すべく其機會を窺つて居る

革命軍靑年男女に非常動員令

【サロニカ九日發國通】革命軍のカメノス將軍は九日東マケドニア全土に對し十六歳より二十歳の青年男女に對し非常動員令を下した

滿洲國に於ける治外法權撤廢問題（一）

大使館參事官 守屋和郎氏談

一、概況 法の屬人主義の思想に基調を有する治外法權制度は近代國際法の基本觀念を成す法の屬地主義の思想と相容れぬものであり

一國 の領土主權なるものは最高、絶對且排他的でなければならぬとの原則が普く承認せられて居る今日に於ては治外法權とか領事裁判とか謂ふ制度は影の薄い存在であること何人も承知して居ることである、治外法權制度は其の起源を尋ぬれば古代「ギリシャ」「ローマ」其他地中海に沿ふ往年の强國にさかのぼらねばならぬ中世紀までの歐州の强國即ち英佛伊其他にも治外法權制度が數世紀間存續したことは歷史の實證する所である「人は法律を背負つて歩く」との思想（屬人主義）は文藝復興前後までは西歐を支配した思想であるが當時各國民は此の思想に基づき外國に行つても本國の宗教法の

支配 に服することが當然であると解して居り各國は皆之を以て風俗宗教及習慣を異にする民族の相互交通の爲には斯の如きことが相互的に承認せられねばならぬものとして居た、之が即ち治外法權の最初の形態だつたのである、此の形態に於ける治外法權は相互平等な基礎の下に習慣的に成立したものであり近代に於けるのとは大に面目を異にするのである、然るに中世紀末頃に至り神聖ローマ帝國の滅亡と共に歐洲に近代的國家が族生し玆に一國領土權の最高性及法の屬地主義の

思想 が擡頭する樣になり、各國ともに自國内に他國の權力の行はるるが如きことを容認せざるに至り、玆に長く歐洲に存在した法の屬人主義に立脚する治外法權制度は漸を趁うて歐洲から影を沒したのである、然るに此の制度は歐洲から影を沒して後土耳古、埃及等の近東諸國に出現するに至つた之は歐洲人が航海術の發達に伴れ通商貿易の目的を以て地中海を越え近東に進出するに及んで回教國の無智に乘じ治外法權制度を近東に移植するに成功したのである、近東諸國は歐洲諸國に於て法の屬人主義の

思想 の衰へた頃にも尙此の思想から脱却せず、基督教國民が基督教に基づく慣習に從ふことは當然であるとし又國民的自負心から「マホメット」聖典及之に基づく法制を異教徒たる基督教徒に遵奉せしむることは回教の冒瀆であると考へ歐米人を輕侮する意味で治外法權制度を許したものと察せられる節もあるのである、斯の如くして成立した

近東 の治外法權制度は時を經るに從つて基督教國民の回教國に於ける特殊優越の權利と變形し長く近東諸國の主權を束縛するものとなつた、歐米諸國が習慣に依つて成立した此の制度を近東諸國がぼんやりして居る間に條約（カピチユレーション）に依て永續的なものとしたのである、此の制度が十八世紀以來歐米各國の極東政策に隨伴して東方にも進出し東洋諸國はシャ羅を始めとし支那日本と謂ふ風に順次に此のしつ桔に苦しめられるに至つたのである、極東進出後の治外法權に付ては時に歐州及近東に於ける如く其の設定が習慣又は容認と謂ふが如き平和的な狀勢の

下に 行はれたのでないことに注意するの要がある、東洋に於ける治外法權は歐米諸國が無理やりに暴力を以て又は慣行なりとの理由を以て東洋諸國に施いたものであることはシャ羅の歷史にも、日本の歷史にも支那の歷史にも明瞭に記述されて居て此の點は東洋人が治外法權制度を以て東洋を侮辱するものと考ふる根本理由とも見られる處である、東洋諸國が國家的意識の强くなるに從て之が撤廢を歐米各國に要望したことは當然のことなのである現下の

三界 を見渡すのに治外法權制度は近東の諸國に在りては概ね撤廢せられ、極東に於ても日本及シャ羅には最早や治外法權制度の痕跡が無くなつた遺憾ながら歐洲全部に匹敵する位の面積を有する支那と一口に呼ばれる廣大なる地域に丈け治外法權制度が儼として存續して居る、而も支那に於ける治外法權程複雜廣汎で且つ根底の深いものは歷史上に其の類を見ないのである、西歐及近東の制度はもともと慣習に出發して居たので權利の範圍も比較的單純であり後に締結せられた條約の規定なども概ね寬容なものであつた、然るに支那に在りては歐米各國が戰爭をせねば之を承認せしめ得なかつた處でもあるからであろうか、權利の内容は條約を詳細に

規定 してある、又本來の領事裁判權のみならず幾多の免除權をも附隨せしめて居るから十重二十重に拘束を受けて居るのである、我々は此の事實に直面して東洋人として非常なる侮辱を感じ且支那に對して心より同情を禁じ得ないのである之と同時に中華民國が大なる面積と人口とを擁しながら百年に垂んとする間此の束縛より脱し得ずに苦しんで居るのを見て情けなく思ふのである國内制度の

改善 よりも内爭と政爭に忙にしく内政の改革とか條約改正の交涉とか謂ふ正道を行かずに排外思想の鼓吹とか不平等條約の一方的廢棄聲明とか謂ふ邪道を行くに傾いて居る現在の中華民國現下の政治及外交の下に於ては如何に中華民國の國民的要望に同情を有する列國でも其の治外法權をおいそれと捨てる決心は出來ないであらう、然し斯樣支那でも治外法權撤廢問題は夙に國際交涉の題目と爲つて居るのであつて今の處列國は撤廢に

躊躇 して居るとは謂へ、晩かれ早かれ中華民國に於ては治外法權も消失する運命に在るのである

杉原〇團長 離滿の挨拶

【大連國通】凱旋の杉原〇團長は十日午後二時關東軍參謀長主催…を隨へ埠頭に到着板垣關東軍參謀副長を始め在連名士と簡單なる會見を行ひ同三時半愈よ盛運丸に乘船、盛大なる見送り裡に一路内地凱旋の途に就いた 尙ほ杉原〇團長は出帆に先立ち左の如き離滿の挨拶を發表した

玆に滿洲國を離るるに當り我居留民並に滿洲國人各位に申上げます、師團は昨年二月滿洲國に出動いたしまして以來〇〇に丸一年餘り此間熱河省一帶の地域に勤務致しまして匪賊の討伐、支那正規軍との戰鬪等に出動して幾多の困苦に遭ひましたが終始よく重大なる任務を遂行する事を得て今日無事内地に歸還する事の出來ますのはこれ全く大元帥陛下の御稜威の賜であり、又熟誠なる各位の後援の然らしむるところでありまして玆に感謝措く能はざるところであります、殊に各地に於て種々御厚情を忝けなうし又多數傷病兵に對して屢々慰問を重ねられます等爲に將兵一同は苦勞を忘れ益々士氣緊張致しましたる段は誠に感佩のほかはないのであります、師團の警備致しました地域の治安は今日概ね良好でありまして效果次第に現れ生民は日々その業に安んじて居り、又一部の山岳地帶に潛在して居りまする匪賊共も近次相次いで歸順を申出づる有樣でありまして師團として安心して内地に歸還し得る次第であります 玆に滿洲國を離るるに當りましてこゝに厚く御禮申述べ、兼て各位の御健鬪と御自愛とをお祈りする次第であります

人事往來

▲立川敏氏（會社員）十日來京國都ホテル投宿
▲大杉俊一氏（黑龍江事務官）同上
▲小川卓馬氏（滿鐵社員）同
▲武田靜雄氏（滿蒙手織）同
▲明石勝利氏（官吏）同
▲李恒雨氏（京都帝大法制史研究室勤務）同
▲高野勇氏（大連會社員）十日午後來京ヤマトホテル投宿
▲平田職一郎氏（鐵路總局ハルビン出張所長）十一日午前來京ヤマトホテル投宿
▲逸見秀次郎氏（兵庫會社員）同
▲鈴木庸輔氏（京都會社員）十日午後來京名古屋ホテル投宿
▲橋本義雄氏（滿洲中央銀行ハルビン支行員）同
▲後藤清氏（陸軍少佐）同
▲清野長太郎氏（赤峰領事）十日正午發赤峰へ
▲板垣少將（關東軍參謀副長）十一日午前歸京
▲靑木重臣氏（關東局高等課長）同
▲小坂隆雄氏（同衞生課長）同
▲高橋勳一氏（新京鐵道事務所旅客主任）十一日歸京
▲中山恕世氏（同庶務長）十一日午後歸京
▲野村富喜氏（同營業長）同
▲塘川泰雄氏（同事務長）同
▲松尾正二氏（同工務長）同
▲宇佐美寬爾氏（滿鐵理事）十一日午前來京

限りある人生

73 …… 送別會（二）　夏川靜江作

そして、その努力は、理智であり、こゝろの眼である。心の眼を外へむけるかはりに、絶えず内へ向けて、みづからの道を正しく規定して行くことだつた。

そして、その同じ寂しい道を向ふから一人歩いて來るもの、みが、眞の、戀の相手だと思つた。それは、獣慾である。よき戀慕は、よき獣慾なのである

嘉世子は、離れ離れにならうとする羊の群をまとめる羊飼ひのやうな、するどい注意力が、自分の部屋の机の前に坐つて、その上に開いてある書物を讀むやうに、自分のこゝろを讀まうと努力してゐた。

早苗のことから、嘉世子は、必然的に盛田のことを想ひ出してゐた、するとかの女は、はつとして不思議な狼狽を感じたのだ。

早苗が死の床で、盛田が、自分を愛してゐると云つた言葉を思ひ出したからだつた。

――それは、思ひ出したくない。思ふまいとしてゐることだつた。早苗の云つたことを疑ぐるのではない。が、それをどう受けとつて考へたらいゝか、まだ自分には、その準備ができてゐないからだつた。

が、考へまいとすることは、既に考へてゐることだつた。嘉世子が、盛田のことを考へ出したとき、階下で、はげしく格子のあく音がして、英語を習ひに盛田の許へ行つた敏の歸つてきた聲がきこえた。

×　×

『あたし、こゝへ置くわ。ルーヂー！』

櫻井夫人は、手の、直ぐ一寸あまりの高い札を、その緑色の羅紗の一劃へ置いた。

すると、志村と云ふ若い實業家が、高い札を二三枚、その反對側のはうへ積んだ。

そして、

『ぢやあ、僕はノアールだ！』

と、云つた。

『まあ、よくあたしに楯突いてくるのネ』

『楯を突くわけぢやないが、一緒ぢやつまんないです』

『あら、どうして？そんなことないわ。赤の方へお張んなさいよ。共同戰線を張つて、緋沙子さんと高村さんを懲めてやりませうよ』

『さう、それがいゝわ。可哀想だけどロンドン行きの旅費を、皆んな巻き上げちやいませうよ』

と、櫻津夫人が、合槌を打つた。長方形の大きなテーブルの向ふ側には赤く色づいた高村の顏があつた。まるく合せた兩掌を振つて、中の札をかちゃ〳〵云はせながら、かれは、傍らの緋沙子夫人に笑ひかけながら、

『あんなこと云つてら』

『云はせて置けばいゝわ』

と、夫人は、感心したやうな眞面目な顏を据えて、その緑色の羅紗を撫つた、賭ける場所を睨むやうにしてゐた。

『それより、あたし達どこへ賭けませうか？パール？アンパール？……』

『そんな所だの、黑や赤ぢや、當つたところで僅になるだけぢやないですか？』

と、高村は、乘り出すやうにして、緋を見詰しながら、

『一つ。一擲千金と行かう？』

新京名物一つ增加 ダイヤ街に露店
組合から補助金も出す計畫
春宵の散策に好適

春宵やうやく戶外に心惹かれる頃となつたが散策に杖を曳く場所に比較的惠まれない新京人士に宵の賑くさみを與へとダイヤ街町內會幹事、有志の間に新に露店商組合設立の計畫が企てられてゐる、場所は第一候補地としてダイヤ街から東二條通りに至る永樂町二丁目一帶があげられてゐるが新設の組合では從來の組合と異つて場合によつては相當の補助を出してもいゝといふ意向のやうで、遲くとも五月までには實現の豫定である、未だ組織規定も具體的に定められてゐないのに各方面から問合はせがあり露店商人間に期待をかけられてゐる、なほ從來吉野町で開いてゐた夜店は町內會の反對で今年は日本橋通り大和ホテルの東角から金泰洋行に至る間に許可を得て居り、吉野町は一丁目だけに町內會で夜店を開く計畫を進めてゐる模樣である、いよ／＼ダイヤ街にも露店が出來れば日本橋通り、西公園、人目を避けてのカップルの散策には大同公園も完備し併せて恰好の散歩地となるだらう

花をもまたで
邦人青年拳銃自殺
關東軍經理部の建築雇員
極度の神經衰弱から

花をまたず若き內地人青年が極度の神經衰弱から世を果敢なみ拳銃自殺を遂げた—十日午後四時四十分頃吉野町三丁目十六番地新華旅舍四階關東軍經理部宿舍第五十九號室長崎市築町一〇二經理部工務課第二分室勤務建築雇員藤田種勝（二一）は自室を清め机の上にダリヤ二輪を花瓶に挿し線香三本たてその側に實父並に友人に宛てた遺書五通を置きベツトに西枕となり所持の拳銃を右こめかみに押しあて發砲し朱に染り自殺を遂げてゐるを隣室の大島春雄氏が異樣な物音に驚き同室に飛込み發見し直に新京附屬地憲兵隊新京署に屆出た、分隊から係員並に關東軍から戶田一等軍醫がかけつけ應急手當を加へたが間もなく絕命した、檢證の結果死因は極度の神經衰弱と判明した、實父福次郎氏に宛てた次ぎの樣な遺書があつた

お父さん種勝は弱い奴でしたよ、種勝の樣な奴はいてもいないでも同じです、忠夫も精神教育をしなくつては危いです、內の兄弟はみんな心の弱い奴ばかりです力を落さないで下さい

眞面目な青年だつた 同僚某氏談

同僚の某氏は語る

藤田君は實に眞面目に働いてゐましたが二ケ月前から頭が惡るい／＼と話し且つ死にたいと口癖の樣にいつてゐました女との關係は絕對にないです、實に氣の毒です

遺骨十五体 あす新京着

勇士の遺骨十五体が十二日午後三時および同時十分の二回に亘つて新京着、太子堂に安置され南嶺〇〇隊の一體とともに十三日午前十時十分新京を出發する、故勇士の氏名は左の通り

歩兵上等兵大藪利雄、都築義雄、歩兵一等兵近藤猛、堀弘、吉田善次郎、中島宗一、後藤高一、水野己一、工兵上等兵仁平正二、宿野部久治、歩兵少尉山本信雄、歩兵一等兵安井清三郎、工兵伍長山下勝美、歩兵伍長伊藤正二、歩兵上等兵櫻井高一

基督教青年會
近く新京にも生る
來る十七日發會式

Y、M、C、A—それは世界的に各都市に組織されて諸般の社會的事業を遂行してゐる基督教青年會の略稱であるが今度新京にも基督教各派の青年によつてこの會が組織され來る十七日（日曜）午後一時から記念公會堂會議室に於て創立總會を開催することとなつた、その目指すところは、社會の中堅たる青年の「十字架を中心とした智、靈、体育の完成社會奉仕」であり高遠なる理想、健全なる思想、清潔なる生活を高唱する同會の今後の活動は國都新京における生活面に大きな線を描くことと期待される、設立の趣旨につき同會準備委員は次の如く語つた

都市の品位上、民族の發展上、將又た社會の進步上から見ても、其の中堅となる青年が常に高尙なる理想と健全なる思想とを有し、清潔なる生活を營む事が必要條件であることは今更云ふ迄もありません、然るに近時內外共に社會の情勢は頗る混濁し、一面危險思想の侵入と共に廢頹的となつたのであります、殊に新京は急激なる膨脹發展のため諸……設立し今回發會式を擧行することゝなつた次第であります

烈風中の晝火事
尾上町滿人宅

十一日午前十一時ごろ尾上町八丁目二番地滿人展子方から出火折柄の烈風に忽ち支那家屋一棟を全燒し同五十分新京消防隊並に滿洲國側消防隊員の手で鎭火した、損害二千圓、原因は煙草の吸殼から

鐵嶺屯に五人組拳銃强盜

十日午前二時四十分ごろ鐵嶺屯門牌十九號雜貨商張永和方へ五人組拳銃强盜が客を裝ひ押入り家人を脅迫し國幣七十六圓、現大洋三十圓、金票三十圓、金耳輪二個を强奪し逃走した屆出とともに首都警察廳で犯人搜査中である

『親切は□な客を〇くする』
けふから新京驛の親切週間

新京驛の親切週間は十一日から實施された「盡す親切感謝の花さく」「親切は至高の奉仕」「親切は□の客を〇くする」等々をモツトーに十一日から向ふ十日間實施する、全驛員は胸に赤いリボンを附けて案內、接客、金錢收支にやさしく親切に旅客に接してゐる、なほこの期間中に感じたのはたれでも三等待合所に備へてある中知函に感想文を投入されたいと

施設未だ其緒に就かず、而も各種淫蕩的誘惑機關は着々として完備されやうとしてゐるのに前途有爲の青年を保護し更に指導する機關がないのは甚だ遺憾でありますに之を憂ひ其の責務の一端を擔ひ各教派の青年が率先して玆に新京基督教青年會を

新京驛の入場券
四月一日から實施
一人一回十錢づゝ

滿鐵々道部ではかねて入場料實施につき調査研究中であつたがいよ／＼四月一日から一齊に實施することに決定、種類、料金その他につき十日附社報で正式發表した、その要項は左の如くである

▲普通入場券（大連、奉天、新京、安東、一名一回金十錢その他の驛は一名一回金五錢）

▲定期入場券（大連、奉天、新京、安東各驛は一箇月金三圓、その他の驛は一箇月金一圓五十錢）

▲四才未滿小兒は入場券不要

▲入場券は簡易驛では發賣せず

▲定期券發賣驛は大連、金州、普蘭店、瓦房店、熊岳城、大石橋、鞍山、遼陽、奉天、鐵嶺、開原、四平街、公主嶺、新京、安東、本溪湖、旅順、營口、撫順の十九驛

長春回顧
田原稔氏に
金融機關の發達過程を聽く

大新京建設の原動力となつてゐる金融機關は如何なる道程を辿つて今日に至つてゐるか明治四十五年に北滿銀行を創設し同社專務取締になり、縱橫に敏腕を揮ひ長春の建設に多大の貢獻をなした現新京養馬俱樂部田原稔氏を煩し變遷のあとを尋ねて見る

日本橋通り

私が長春へ來たのは明治四十三年、その頃は附屬地の建物もまばらで廣々とした野の原に二、三軒づつ建つてゐるといふ工合で今の日本橋通りなども和登洋行阿川組位のもので吉野町のカフエーモナミの裏通りに汚い家が少しあつたのと橫通りに支那家屋があつた位で吉野町の裏通りなどひどい水溜りで渡邊運動具店の附近には西公園の池位の水溜りがありました、銀行で一番早く出來たのは正金銀行支店で城內の北大街の現在の滿洲國土地局の建物がそれです、當時市中の金融は藤田與一郎氏が金融組合をつくつて小資本を融通してゐたのと佐賀の人で實松といふ人やお醫者さんで吉川といふ金持ちが今のカフエー滿洲の附近にゐて小資本の融通をしてゐましたその他質屋では瀨尾、本城などが小資本の貸出をしてゐましてこれ等の小資本が市中の商工業者に利用されて附屬地建設の原動力となつてゐたのです明治四十五年十月に今の朝日通りの人の道教園の角の所に北滿銀行を創設し私が

專務取締役

となり銀行業務を始めました之が長春に於ける正金に次いで出來た銀行でした、それから正隆銀行が進出して來三宅圓氏が初代の支店長でした、銀行の增設に從つて市中の小金融機關の業務は面白くなくなつて來て藤田氏の金融組合は大正五、六年頃公主嶺銀行となり後に滿洲銀行に合併され大正四、五年頃から金融組合をやつてゐた西村儀三郎氏の金融組合は長春銀行となり今までの小口金融機關は全部銀行に代つてしまつた、その中に大正六年に至り私の北滿銀行は業務不振のため解散といふことになりました、朝鮮銀行は確か大正二、三年頃と思ひますが始めて支店を設け初代の支店長は飯田勘太氏でありました、この鮮銀をバックにして生れたのが新京銀行で島名福十郎氏丸山直助氏など大部分の株を持つて島名福十郎氏が初代の頭取、片山與太郎氏が專務取締役でした、大正七、八年になつて金融機關が略ぼ整備し、八、九年の歐洲大戰後の好況の波に乘つて特産物が活況を呈し市場は膨脹する、此の時代に至つて銀行は一齊に一大擴張をしたのであります、大正五六年頃の銀行利子を見ますと

正金銀行が

二錢七八厘乃至三錢二三厘、北滿銀行三錢五厘乃至五錢正隆五錢乃至八錢、市中の小口金融機關は八錢乃至十錢、高い所は十五錢が普通でした、貸出は正金は殆んど物件には貸出をせず爲替が主で他の銀行は家屋建築土木特産といつたものが多かつたやうに記憶してゐます、大正八九年頃の好況時代には取引所の金銀建問題で某々大銀行が業務擴張のため瞎々裡に大競爭をやつたこともありました、二十數年も前の事で數字なども記憶に止めず漠としたお話ですが大体以上のやうな道程を辿つて今日に至つてゐるやうに思ひます、それから新京取引所について一言つけ加へて置きませう新京取引所は今の頭道溝總商會が主となつて關東都督府の認可を得て取引業務を行つて居りました總辨は李子纔といふ男でしたそれが大正三年頃と思ひますが山ノ內領事、驛長の岩永裕吉氏、地方事務所長の村田磨氏私などが奔走しまして

長春取引所

といふものが生れ初代の所長は現大連取引所事務の田村羊三さんでした

（寫眞は田原稔氏）

白衣の勇士達 何れも大喜び
時局後援會で慰問

新京時局後援會では十日の陸軍記念日に當り衞戍病院入院加療中の傷病勇士を親しく慰問すべく地方事務所野村社會主事、加藤社會係員の一行は日滿藝術協會の糸井氏一座十三名を案內して左記プログラムによつて病院講堂にて午後三時より慰安會を開催したが入院中の白衣の勇士八十余名は音樂に舞踊に或は珍藝に痛みも忘れて抱腹絕倒近來にない和やかな會合に一同大喜びで約一時間餘で散會した

一、慰問の辭
二、ジャズと舞踊
三、小奇術
四、軍歌集
五、寸劇「男は勝手な者よ」
六、ジャズダンス
七、閉會の辭

青年同志會
忠靈塔參拜

新京商工青年同志會では十日陸軍記念日三十周年に當り國吉會長以下會員二百餘名、午前十時忠靈塔に參拜英靈に默禮を捧げた後國都建設局に至り屋上より伸びゆく新京の發貌を視察し旗行列をつゞけて更に軍司令部、駐滿海軍部司令部に至り各司令官の萬歲を三唱して正午新京神社に至り散會した

一、講師 關東軍參謀 騎兵步兵中佐 なほ會食は今回は都合により取止める由

柏田忠一氏講演

拓殖大學教授柏田忠一氏の來京を機とし滿洲電氣協會駐京辦事處主催で次の通り講演會が催される

一、日時 三月十四日（木）午後四時半開會
一、場所 ヤマトホテル
一、演題 滿洲國に於ける治外法權撤廢問題に就て

東京、ロンドン間の無線電話好成績

【東京國通】一萬五千キロを距てる東京、ロンドン間の無線電話開通式は愈々來る十二日行はれるので九日の天羽外務省情報部長とロンドンの松平大使が試驗通話を行つたところ市內電話以上の好成績であつた

アメリカン蹴球團來朝

【東京國通】朝日新聞社招聘の全アメリカン、フットボール團一行卅五名は米式蹴球を最初に我國に紹介すべく十日午前十一時橫濱入港の日本郵船太平洋丸で來朝、午後一時過ぎ入京した、一行の監督兼マネヂヤーのマロニー君を始め何れも廿歲より廿五、六歲の青年で平均體重百八十磅（廿二貫）身長何れも六尺豐かでアメリカの力士がやつて來たやうだ、日本では來る十四日明治神宮外苑で先づ紅青試合を行ふ筈である

官吏消費組合洋服部も新設
中央通り元新京日報跡へ

反消運動の嵐をよそに着々業績をあげてゐる滿洲國官吏消費組合では新たに中央通り元新京日報社の跡を借受け洋服部を開設し十日から業務を開始した、既にミシン十台を据えつけ、職人は全部で六十人餘、裁斷師は內地から特に優秀な技術者六名を招き、開業二日で既に五十着に近い注文を受けてゐる、未だ造作もしてない店內には生地が積まれ混雜を呈してゐるが屋內の改造を終り正式開店は四月初旬の豫定である

昌和洋行の店員拐帶逃走

八島通二十番地昌和洋行小島和三郎氏方外交員大阪市南區西櫓町三森愛之助（三五）は昭和八年六月から同店の外交員として働いてゐる內賣掛金二千五百圓を中央銀行から無斷で引出し九日妻の病氣を口實とし逃走、行方不明となつたので取押へ方を十一日新京署へ願出た

扶餘の朝鮮人料亭に拳銃强盜

十日午前二時ごろ扶餘縣南扶餘驛前朝鮮料理店長春館こと金康叡（五五）方へ十人組の拳銃强盜が押入り金の前額部に發砲射殺し四名が戶外で見張し帳場にあつた現金六十五圓入、手提蓄音器、レコードケース入、布團二枚を强奪逃走した急報により農安署から署長以下係員が現場に急行した

仙人掌

▲「月刊滿洲」で、ナナが十一時には店を閉める、そのあと何をしてゐるんだらう、とやられてゐましたが、十一時どころか九日の夜などは十時にはもう閉店休業でありました▲そのあと何をしてゐたかと申しますと、二人は記念公會堂に行つて堂にあふれたロシア人たちの假裝舞踏會に參加したものです▲それも、まさか日露戰回想の氣持でもありますまいが行動たるやいとも勇敢、あの强烈なウオツカを五六本も平らげすつかり醉つぱらつちやつて危ふく大激戰の跡もかくやといふ所を展開しやうとしましたが、どうやら踏みこらへたものです▲御歸還は午前三時、送りとゞけたこの夜の騎士がパチンとドアの前でシャットアウトを食つたことは保證致します▲所で翌朝はもう午前十時から女主人公御店を留守にして外部工作とありますからナナント達者ぢやありませんか？

電氣協會 第十七回朔日會

社團法人滿洲電氣協會駐京辦事處では來る十三日（水曜）午後四時半からヤマトホテルで次の通り第十七回朔日會を開催する

一、演題 滿洲移民問題に就て

けふの銀場相

金票對國幣	[illegible]
金票對鈔票	[illegible]
鈔票對國幣	[illegible]
現大洋對鈔票	[illegible]

天氣と氣温

明日の天氣 南西の風曇り後晴

日の出	午前五時五十八分
日の入	午前五時四十分
月の出	午前九時五十三分
月の入	午後一時十六分

けふの氣温 最高 五度五 最低零下 八度七

新撰爆笑隊（禁上映 上演）

辰野九紫作　永田八浦關英太朗畫

時代篇

見附の晴嵐（一）　二三

もぞ〳〵と、瀧野と鶴吉がふやけてゐると、昨夜の馬鹿騷ぎを忘れ飴の喜兵衞が、敵娼東屋を從へて廊下から幸御の咳拂ひをした。

「エヘン！　もう、日が高い、日が高い――」

「ナニ、利が高い？」

「これさ、鶴ンちやん――何を寢惚けてるんだ」

「てヘッ、おいらは鶏の鳴かねえ先から起きたくてたまらねえんだけど、この花魁が不承知で閉口だわナ」

「はははは、知らねえ人が聞いても本當にしねえや。オイ、開けてもいゝか」

「いふにや及ぶ。仕度の早えが江戸ッ子の自慢だ」

「アイ、御免よ……。なんと、鶴的――ツンと辛い山葵漬で、迎へ酒を一杯やらかして、立つ鳥跡を濁さずテン寸法はどうだ？」

「贊成、三助。洗しはお下手の見切りが肝腎！　とことんやれ、取消しだッと、あッはッは……花魁――聴く勿ふなよ」

「それでは玉のお直しでも附けてくんなさるまいか」

「馳走め！　朝湯は茶屋に限りやす。さア、お待ち遠う――御さん、ちやッと行かまいか」

「はははは、お前も案外野暮ぢめがいゝの」

引手茶屋の裾野で旅装束に身を堅めた御兩人が、路用ひを濟ませて大門の外へ出ると、ぞろッぺいな服裝をした野郎が、これも二人で後から聲をかけるではないか。

「お大盡！　お大盡――」

「はアてナ、おいらはしらねへ人のやうだが……」

「エッヘッヘ、夕べは御全盛の御様子で、流石は江戸のお大盡……おいら山吹の至りでごンざりますだ」

「いや、とんだ恥の掻き捨てよ」

恐縮千萬……さては、こなた衆が狐ケ崎の牛屋さんでごわしたか」

「なんの、わし等ア西へ歸る者だけど、どうだね、安くしとくに乘つてくんなさるまいか」

「乘りものにもいろ〳〵飽きたが……ハテナ、もう一人の方は二丁御の馬かの」

「いんね、この野郎も同じ仲間だによ」

「それは〳〵、見損つて濟まねえ。――さりとて籠がある譯でもねえやうだし……一體全體、お前さん方はおいらを何に乘せる氣だの」

「肩車――」

「ナニ、肩車？　ははは、小供ぢやあるめえし、そいつは有難んねえや」

「そんなら連盡を気張つてくんなさるか。さうすりや、親方にも面向けが出來るといふもんちやあろまいか。――なア、兄弟……」

「ふんとに、さういふこんだとわし共の面目玉もおッ立つといふもんで有難いやア」

「ははア、川越の若い衆か」

「さうでごンざりますだ」

「それは〳〵、きつい御執心――大井川では朝晩女郎衆はトヤにでもついてるかの」

「いんね、そんた遠くからでねえ。わし等ア安部川の者だで、いつもの通り夜明け頃歸ればよかつたに、なんぼ張り倒しても、女郎が離れにやアで、つい、はア、時の經つのも忘れからかいて、親方に申譯のねえことになりくさつて……」

「旦那方の前だが――惚られて寵る果報者……モテねえ皆が羨しうごンざりますだ」

「女郎にも誠チウもんあるずらか」

ラヂオ

十二日（火曜）新京

午前之部

六、三〇　ラヂオ體操（滿語）
六、五〇　ラヂオ體操（東京）
七、一〇　中等滿語講座（大連）講師　秩父固太郎
八、三〇　經濟市況（東京）
九、四〇　經濟市況（大連）
一〇、〇〇　料理獻立（奉天）
一〇、二〇　經濟市況（大連）
一〇、四〇　經濟市況（東京）
一〇、五九　時報（東京）
一一、〇一　經濟市況（東京及大連）
一一、四〇　ニュース（東京）

午後之部

〇、〇一　經濟市況（大連、引續新京）
〇、三〇　ニュース
〇、四〇　ニュース（滿語）
〇、五〇　演藝（レコード）（滿語）
二、〇〇　經濟市況（大連）
二、二〇　成人講座（滿語）（哈爾賓）
性心身之研究　萬國道德會哈爾賓分會主任　朱春榮
二、四〇　日用品値段（滿語）
二、五〇　經濟市況（東京）
三、〇〇　ニュース（東京）
三、三〇　經濟市況（大連、引續新京）
三、五〇　ニュース（鮮語）
四、三〇　ニュース（鮮語）
四、四〇　演藝（鮮語）
四、五〇　ニュース（英語）
五、〇〇　子供の時間（奉天）
一、齊唱
（イ）わたしたち
（ロ）川中島
奉天千代田小學校三年女生徒
二、ピアノ聯彈
集の中の七面鳥　一年生　古山茂夫　戸田佳子
三、ハーモニカ合奏
（イ）私の人形
（ロ）キングカールマーチ
高等科男子生徒
四、合唱
故郷　六年生女子
五、ハーモニカ二重奏
キスメツト　足立敏郎　新見嘉一
六、合唱
奉天千代田小學校職員團
（イ）閃めく星
（ロ）晩鐘
五、二五　氣象通報、番組豫告
六、〇〇　ニュース（東京）

ラヂオの御用は　東京無線　電四九二〇番

六、二〇　對歐電話開通記念日英交換放送（東京）
アナウンス
ニュートン、エドガース
ロンドン、東京間對話
（ロンドンより）
駐英特命全權大使　松平恒雄
（東京より）
男爵　松井慶四郎
駐日英國大使
サー、ロバート、ヘンリークライブ
（ロンドンより）
ロードバーンビー
（東京より）　串田萬藏
（東京より）
歌謠曲　かんちろりん　喜代三
外二曲伴奏
ポリドール、オーケストラ
（ロンドンより）音樂
（東京より）終了アナウンス
ニュートン、エドガーズ
六、四五　講演（東京）
國際電話の開通に際して　進藤誠一
六、五五　日獨交換放送
（東京より）
アナウンヌ
駐日獨乙大使館員
ベルリン、東京間對話
（ベルリンより）
駐獨特命全權大使　武者小路公共
（東京より）
前駐獨特命全權大使　永井松三
駐日獨乙大使　フォルベルト、フォン、デールクセン
（ベルリンより）
元駐日獨乙大使　ゾルフ
（東京より）
醫學博士　入澤達吉
（東京より）
歌謠曲　唐人お吉　喜代三
外二曲伴奏
ポリドール、オーケストラ
（ベルリンより）
獨乙民謠
（東京より）
終了アナウンス　駐日獨乙大使館員
七、二〇　落語（東京）
大工調べ　蝶花樓馬之助
七、四〇　哥澤（東京）
（イ）戀すてふ
（ロ）八重ひとへ
（ハ）笛竇
唄　哥澤芝松
三味線　哥澤芝香
七、五〇　唐人ばやし（長崎）
一、平板
二、流水月
三、西皮
四、金錢花
唄　桃香
同　知惠子
琴　光駒
同　玉勇
同　紅代
同　若千代
琵琶　千清
同　榮歳
朋笛　里千龍
木琴　壽々代
胡琴　萬代
牛鼓　政歳
八、〇五　長唄（東京）
傾城
唄　杵屋増子
同　杵屋佐久榮
同　杵屋佐壽葉
三味線　杵屋佐代
同　杵屋佐喜琴
同　杵屋佐伊
八、三〇　時報、ニュース（東京）
引續き　ニュース、經濟市況
八、四五　氣象通報、番組豫告（滿語）
九、〇〇　古樂（奉天）
奉天孔學會雅樂班　指揮　周潔沈
一、陽元歌
二、賀聖
三、萬年觀
四、粉蝶
五、漁翁樂
六、梅花三弄
七、小花園
八、祭腔
九、千麗佛
一〇、〇〇　北滿の時間（露語）（哈爾賓）
一、講演　一九一七年の二月革命　イワノフ
二、レコード
三、ニュース

列車遺失品

▲八日午後五時三十分着列車二等車内中國一圓銀貨三枚
▲八日、發ホームに金票七圓六十五錢入財布
▲八日午後九時着列車三等車内洗面袋
▲同車内襟卷
▲八日午後十時三十分着列車三等車内阿片器具
▲同二等車内空氣枕

吉凶禍福

三月十二日　舊二月八日　火曜　癸未　先負　成　尾宿

●一白の人　投機心を去り堅實に歸む時は大吉日と成る　甲と乙と丑が吉
●二黒の人　急げば廻れ何事も直前すれば目先き眩らむ　丁と癸と丑が吉
●三碧の人　取極事は注意せざれば後に至りて口舌あり　甲と乙と丁が吉
●四緑の人　着實なれば午前より午後も次第々々發展す　甲と乙と辛が吉
●五黄の人　善き考の浮び出でぬ日進むときは危險なり　未と庚と壬が吉
●六白の人　遠き先を見越しての計畫は運算あり易き日　丙と庚と壬が吉
●七赤の人　折り返す波を渡る如し一瞬の油斷もならず　丁と辛と癸が吉
●八白の人　乏しきを憂へず耐へて口に出さぬ様すべし　未と庚と丑が吉
●九紫の人　物に倦まざる時は大吉の日となる但旅行凶　庚と辛と丑が吉

居住消息

轉居

▲須澤秀男氏（廣島縣）梅ケ枝町四丁目二番地ノ三伴方へ
▲北澤太刀氏（茨城縣）同
▲森山宣夫氏平安町から吉野町一丁目三番地河崎方へ

▲安達滿夫氏（常盤町三丁目十三號ノ五）三女泰子さん三日出生
▲佐藤正成氏（花園町二丁目二號地七ノ四）次男靜夫さん四日出生
▲村岡虎吉氏（吉野町二丁目七番地）三女和子さん四日出生
▲大澤堂文氏（平安町二丁目六號ノ十一）長女幸子さん四日出生
▲柳田三郎氏（吉野町一丁目二十番地）男敏雄さん八日午後零時死亡

滿洲國の交通に就て（八）

鐵路總局長 滿鐵理事 宇佐美寬爾氏

尙鐵道に附加へて水運と自動車とを一言し度いと思ふ、御承知の如く北滿には黑龍江松花江、嫩江、牡丹江等の大河があるが滿洲國の交通上から見て松花江は最も重要である此河は黑龍江の支流ではあるがそれでも六百邦里、哈爾濱より下流は千噸の汽船が通ふ露國は東滿鐵道敷設の際此河によつて盛に建設材料を運び今を去る八十年前璦琿條約に依て此航行權を獲得し、爾來革命迄完全に北滿諸大河の航運を把握してゐた、然るに其後航行權を繞る問題が起り東北政權は大正十五年武力を以て回收を斷行した、現在鐵路總局は此等河川の水運を經營して居るが、それは舊東北政權に屬した官營水運を引繼いだものである、而して從來松花江下流地方に出廻る大豆は船で哈爾賓に運ばれ、所謂河豆と稱し其量約五〇萬噸に及んで居るが、前述圖們、佳木斯間の鐵道開通の曉には北滿大豆の輸送系路も自ら一變するものと考へられる

×

次に自動車、既に御承知の通り歐米諸國に於ける自動車の發達は交通の革命を促し大に鐵道を壓迫し兩者の競爭及協議させる必要と鐵道自動車の調整が今日交通上の大問題をなしてゐるのであつて、兩者は之を分離して考へることが出來ない、これは歐米のみならず日本も亦同樣である而して滿洲は從來道路もなく民度も低く自動車事業として見るべきものは殆ど無かつたのであるが、將來のことを考へると自動車の使命は大きく且先進諸國の例を見ると放任する譯に行かないので、鐵路總局の事業中に自動車經營の一項が加へられてゐるのである、先進諸國では鐵道が相當發達した後に自動車が現はれた、それにも拘らず鐵道は甚大な打擊を受けた滿洲は之から鐵道を發達させねばならぬ時、若し自動車と競爭するとなると鐵道の發達は不可能となり鐵道の國防開拓への貢獻は期待出來ないことになる、斯くて滿洲に於て自動車を發達させる必要と鐵道自動車の兩者を協調させる必要とは、日本內地並歐米諸國にも增して痛切に感ぜられる次第である、仍て滿洲國國道局が十年計畫を以て國道六萬粁の建設に當る、其國道中（一）鐵道との競爭になる線（二）鐵道の代營になる線（三）治安維持及經營開發上重要な線は國營路線として總局が自動車を經營する、其他は民營に委ねることになつて居る

×

鐵路總局は熱河征戰の砌承德線に自動車を入れたのを最初とし、僅に一年餘の間に約二七〇〇粁の自動車路線を開拓經營し、更に今後一年間に四一五、〇〇〇粁の營業を開始する豫定である、斯く言へば滿洲の自動車經營は極めて容易有利であるかの如く聞えるかも知れない、併し實は必ずしも然らず、容易に儲かる線だけやるなら兎も角公衆の利益や治安維持の必要を考へてやることになると誠に困難なのである、即ち滿洲は道路が惡い、國道と云つても大半は砂利さへ入つてゐない、雨期や解氷期には泥濘になり運行不能になる、乾燥期には名物の黃塵となつて車輛に喰込むそんな譯で營業日數は少く車の壽命は縮る、それに加へて交通量は少く運賃の負擔力は乏しい、物件費は割高である例之ガソリンの如き關稅の關係上一ガロン九〇錢に當る、人件費も警備費其他と同じく割高になる、從て自動車の營業成績は動もすると赤字、せい〴〵直接經費を償ふ程度で當分減價償却の如きはなし得ない見込である、而かも總局が之を兼營するは前述の理由からで、滿洲交通の發達といふ大局的見地から當分の犧牲は忍ばねばならない

漸次輸入減少の傾向
三月上旬貿易
主因は棉花輸入減

【東京國通】三月上旬貿易は一千百四十八萬三千圓と比處二、三旬に比し稍々入超額減退の勤を示した、之が主因は棉花輸入の減少と見られ貿易筋の買付け情勢から見て漸次輸入減少の過程にあるものと思はれる、その他輸出入商品の動きには殆んど變化が認められない、今後の大勢は先づ輸出方面に於て之を見れば

一、金約款不安の解消

一、最近の磅下落は金ブロックの先行懸念あるも今迄日本の圓爲替は傍に追從して下落し且先輸出は寧ろ促進する

一、對支關係の好轉

その他世界諸市場に日本品妨遏懸念の諸理由から見て當分現在の情勢を持續し一方輸入に於ては

一、必要品その他機械類等輸入旺盛に基本的變化なし

一、棉花は一、二月の紡績買付けが印棉及び米棉に就ては金約款案等のために手控えられ三、四月輸入はやゝ減少する、從つて從來に比し今後は入超額も幾分減少傾向に向ふものと見て居る、尙今月末に於ける我が國の聯盟正式脫退に伴ふ委任統治諸國の關稅對策は日本に對して差別待遇をなす立法手續をなしたと傳へられるが之等諸國の求償貿易の要望に對して我が外務當局も折衝中でありたいした問題になるまいと思はれて居る

香港太平洋同盟
今夏より運賃引上げ

【東京國通】香港太平洋同盟では六月一日より運賃を一割引上げることを決定したが九日郵船への齎電に依れば香港ニューヨーク同盟も七月一日より全面的に運賃を一割引上げることを決定した

上海各界聯合
不況救濟會議開催

【上海十日發國通】財政部長孔祥熙氏は上海商工金融各界の請願に依り緊迫なる上海財界救濟の對策を考究するため九日財政部上海辦事處に上海市長吳鐵城以下各會の首腦部を召集、市況救濟會議を開催し長時間に亘つて協議を開き更に十三、四日頃第二回會議の上愈々各界聯合の救濟方法を樹立する筈であるが、不況緊迫が深刻且つ廣範圍に亘るだけに應急に適應すべきこの對策の樹立は多大の困難を伴ふものと觀らる

支那經濟危機を救ふは
自力更生のみ
策動

【上海國通】日支接近氣運の刺戟を受けて對支關係に至大の利害關係を持つ英米兩國特に英國が俄かに策動を開始した事は屢報の如くであるが、最近に於ける英米策動の大きな現れとして擧げ得るものは

一、ワシントンに於て駐米英國大使ロナルド・リンゼー氏が米國々務次官ウイリアム・フイリップス氏に對して對支共同援助を申出でたこと

二、駐支英國公使カドガン氏が支那當局と目下交涉中であると屢明した事に依つて英國の對支二千萬磅借款交涉說が確かめられたこと

三、宋子文氏と駐支米國公使ジョンソン氏との間に對支援助の交涉が進められたこと

の三つである、國民政府が一昨年度に於て豫算面だけで一億七千萬元昨年度に於て二億三千萬元の赤字を出し更に一般財界の極度の逼迫、農村經濟の破綻に直面し崩潰の一歩手前を彷徨して居る

事實 は英米兩國をして日本の單獨援助に對して甚だしく焦燥を感ぜしめ策動を一層猛烈に導いたものらしい、而して右に述べた策動の內第一に就いてはフイリップス氏は英國の申出でに對し其原則に賛意を表したが、政策實現に就いては東洋並に支那國內の實狀に鑑み對支援助に對する今後の會談について日本の參加を要求すべきであると申し添へたと傳へられる又第二の二千萬磅借款に就いては昨年一月宋子文が當地匯豐銀行に對し二千萬磅の借款を申出でたが匯豐銀行は英本國政府の命により金本位ならざる國に對し融資する事は政府の方針に依つて禁止して居ると云ふ事を表面の理由に實は益々惡化する支那財政の窮乏に恐れを爲して拒絕して仕舞つた事實があり、今回擡頭せる二千萬磅借款說は昨年一旦

消滅 した、右借款交涉の再燃したものと觀られて居る、興味あるのは此借款交涉に就てカドガン公使や英國外相サイモン氏が初め支那から話を持かけられたと云ひ汪精衛氏は一切知らぬと頑張り財政部長孔祥熙氏は英國から持込んだものだと云つて居る、古狸の化かし合ひであるから何れを眞と壓し難いが一旦明るい面の下にさらけ出されるや日本に向つて極力辯解に之努めねばならぬ程の無力不甄當なものであつて右交涉は春の

氷の 如く明るみに出ると同時に溶解しかゝつてゐる、又第三に至つては話が半に於て米國の言明によつて解消された、只特に注目すべきは確かなる筋の消息によれば英米佛は日本の單獨援助を恐れて日英米佛四國借款團の復活を企圖し對支共同援助を日本側に申出でた處日本政府より即座に其時期に非ずと拒絕され前記三國を以て極東に於ける對日共同戰線に狂奔し始めたことであるが之亦其進展性如何と云ふ處から觀れば大きな

疑問 が附せられ結局日本の參加援助を求めることに落着したのであらうとの觀測が有力である要するに總て對支援助が日支關係の常道化を絕對的先決條件となす事即ち支那が日本と親善關係を恢復し得ない限り如何なる國と雖も對支信用を生じ得ないことを以上述べた諸事實が有力に物語つて居り現に潛行的に行はれ又行はれんとして居る支那の對外借款交涉は現在何等具體的進展の事實無く單なるジェスチュアに過ぎないものすらあり各國共日本の眞意探査に全力全神經を傾けて居ると云ふのが現下の實狀と云へやう、日本政府が現在執つて居る支那現狀に於ては自力更生によつて財政的經濟的建設を爲すを

最善 の方策なりと確信する、若し英米側に適當なる具體策ありと云ふなら之を聽くに吝でないが今直に新四國借款團の契約を以て支那に財政援助を與へることは同意し難いと云ふ日本當局の態度は克く支那の刻下の危機を救ひ延いては東洋の平和を招來する識の極めて妥當適切な措置であるとされてゐる

海外經濟

▲銀

倫敦銀塊 現 一七片一六分一五 / 同 遠限 一七片一六分一 / 紐育銀塊 六八仙二分一 / 孟買銀塊 六四留廿一六分一五 / 米英爲替 四弗七七仙八分七 / 米日爲替 二九弗二五仙 / 米支爲替 三六弗六八分七 / スチール株 四〇弗八分七 / アナコンダ株 九 二分一

▲米棉

現物 一三二〇 / 三月限 一三仙〇五 / 五月限 一三仙一二 / 七月限 一三仙六 / 十月限 一二、九五 / 十二月限 一二、九八 / 一月限 一三仙〇四

▲上海日本向

第一回 一二六六二五〇 / 第二回 一二六七五〇 / 第三回 一二六五〇〇

▲上海倫敦向

第一回 一志七片 一六分五 / 第二回 一三七〇〇〇 / 第三回 一三六〇〇〇

▲上海紐育向

第一回 三六弗 一六分三 / 第二回 三六弗 二八分三 / 第三回 二分一

▲上海標金

本 寄 八六二五〇 八七二〇〇

▲大連金鈔票

寄付 現物 一三二七〇〇 / 引 一三二一〇〇 / 高 一三二三五〇 / 安 一三二〇〇〇 / 出來高 三萬 / 三月十三日限 一月二十八日限 / 寄付 一三三一〇〇 一三三六〇〇 / 引 三三一〇〇 二九〇〇 / 高 三三一〇 三三〇〇 / 安 二一〇〇 二三〇〇 / 出來高 不明 不明 / 現物 大連鈔票銀大洋 一〇二五〇〇 一〇一七〇〇

▲大連上海向

一〇一三〇〇 一〇二三五〇 / 一〇一三〇〇 / 一〇一三五〇 一〇二三〇〇 / 一〇一三〇〇

▲大連營口向

一〇一三〇〇 / 一〇一二〇〇

株・銀　久記 銀號 證券部支店

新京取引所仲買人 奉天取引所仲買人 滿洲取引所仲買人

老松町十二番地 電話二〇八五番 五三二九番

金銀兩替、定期取引、多少に不拘御用便に應ず

各地市場

▲阪神日米

買値 二八弗〇〇〇 / 賣値 二八弗八分一

▲大阪式株

大株 新 / 大紡 新 / 鐘紡 新

▲同 短期

大 新 / 鐘紡 新 / 東 新 / 日 新

▲大連株式

五品 / 先限

▲奉天株式

東 新 / 鐘 新 / 日 新 / 大 新 / 滿鐵 新

▲仁川期米

當限 / 中限 / 先限

▲大連特產

◎大豆 / 袋込 / 三月限 / 四月限 / 五月限

◎豆粕 / 六月限 / 七月限 / 現物

◎豆油 / 三月限 / 四月限 / 五月限 / 六月限

◎高粱 / 現物 / 三月限 / 四月限 / 六月限

株　新京財越屋　新京祝町四丁目二　電話（六一一三）四四八番

新京市況

◎特產現物 大豆 三、六〇 一車 / 高粱 二、九〇 一車 / 小豆 二、〇〇 二車

◎特產先物 大豆 / 五月限 四、五九 / 出來高 五車

三月限 三九四 / 四月限 四〇五 / 五月限 四一〇 / 六月限 四一〇 / 七月限 四一六

◎錢鈔先物 六月限 四、四七 四、四六 / 出來高 一六車 / 七月限 四、四五 / 出來高 五九車

國幣對鈔票 三月十三日限 八三、七〇 / 出來高 六千圓 / 國幣對鈔票 三月廿八日限 八三、七〇 八三、六〇 / 出來高 二萬一千圓 / 金票對鈔票 三月十三日限 一三二、五五 一三二、九五 / 出來高 二萬六千圓 / 金票對鈔票 三月廿八日限 一三三、〇〇 一三三、六〇 / 出來高 九萬六千圓

◎錢鈔 金票對國幣 一二一四五〇 / 金票對鈔票 一三三四〇〇 / 鈔票對國幣 八三四七〇 / 現大洋對鈔票 一〇一四七〇

株　福泰公司　滿取仲買人

◎高級……新車　電話 六二三五番 四八七九番　ダイヤ街 現代タクシー

大正九年十月二十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊 夕朝刊共十二頁

本紙定價 一部五錢 一ヶ月一圓 / 廣告料金 普通一行 一圓三十錢 / 特別 二圓五十錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話三二二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠 / 編輯人 松本勇 / 印刷人 水越内之介

北鐵讓渡假調印終る！

歷史的シーンのうちに滯りなく假調印を了す！

時正に十一日午後八時三十分 外務大臣官邸に於て

（東京發國通至急報）北鐵交涉は十一日午後八時卅分假調印を終了した

北鐵交涉假調印は十一日午後八時卅分より霞ケ關外相官邸に於て行はれた、この日、日ソの起草委員は午後五時卅分より外務省會議室に最後の起草委員會を開き、本文の讀合せを行ひ、八時これを終了したので廣田外相、東鄕歐亞局長、西同局第一課長、栗山條約局長、小林同局第一課長、官川調查部第三課長、丁公使、大橋外交部次長、烏澤聲氏、ユレネフ大使、カズロフスキー氏、クヅネツオフ氏等關係者は定刻夫々官邸に參集、先づ廣田外相より斡旋者として挨拶を述べたる後直に滿ソ協定及び之に附屬せる議定書、日滿ソ議定書、日ソ交換公文に夫々假調印を行ふところあり、斯くて日滿ソ三國の親善を表徵する歷史的調印を終つた、三國代表は幾度か暗礁に乘上げた一年十ケ月に上る難交涉の經過を顧みつつシヤンパンを拔いで今は互に心からなる打解けた歡談を續け午後十時半散會した

北鐵讓渡交涉完了 廣田外相欣然として語る

【東京國通】北鐵讓渡交涉假調印完了に當り廣田外相は欣然として左の如く語つた

讓渡協定成立により極東に於る日滿ソ三國間の懸案解決は、東洋平和確立への第一歩を踏出したもので、更に之を機に三國々交の整調を期せねばならぬ

その齎らす影響

滿ソ關係は北鐵讓渡成立を契機として一大轉換を現出するであらう

建國後二年間の滿洲國の對ソ關係は北滿鐵道の歷史であつた、政治的にも經濟的にも軍事的にも對ソ關係はいつも北鐵を中心として展開され北鐵は滿ソ關係の癌であつた、今その紛糾の禍根が除かれて、久しき間北滿の空低く鎖された暗雲は晴れ上つた、滿洲國の建設は一段と飛躍するであらう

◇

北鐵の讓渡は滿洲國內におけるソ聯勢力の退却である、少くとも表面的にはソ聯の勢力は之によつて解消するといひ得やう、ソ聯は北鐵を擁して建國以來滿洲國の建設政策を牽制して來た、新國家の北滿建設はこれがため多大の不利を蒙つたのである、今後は北鐵の接收によつて豐沃な北滿の產業經濟建設は全滿鐵道の一元化によつて急テンポに促進されるであらう、而して接收後に來る滿ソ間の案件は國境確定問題、漁業協定問題等であるが、かゝる問題も滿ソ關係の圓滑化と共に從來に比して比較的スムーズに解決されるものと信じられる、ソ聯の赤化工作もその根據地とされてゐた北鐵を手放したことによつて大に緩和されるであらうし滿洲國の國力の充實は從前のやうに共產分子の跳梁を許さなくなるであらう、新國家が北鐵の買收をもつて滿ソ關係の全面的親善關係の增進を

期待することは尚早ではあるが、北鐵によるソ聯勢力の淸算は新國家建設に多大の好影響をもたらすことは疑へない事實である

◇

一方ソ聯の北鐵讓渡は事實上の滿洲國承認である、何となればソ聯は北鐵を滿洲國といふ一獨立國家に讓渡したのであつて、これを日本が買收したものでもなければ支那が買收したものでないことは勿論である、昨年九月ソ聯邦が國際聯盟に加盟した際に加入條件として「加盟前の事態に對しては一切責任を持たない」と主張し更に「北鐵を讓渡したことによつてソ聯は事實上滿洲國を承認したと思惟されても差支へない」と言明したほどであるからソ聯政府自體としては事實上滿洲國を承認したものとみられるのである、滿洲國不承認決議をした國際聯盟の有力なる加盟國ソ聯がかくして滿洲國承認行爲を實踐したことは滿洲國不承認主義の將來に大きな暗影を投げかけてゐるものであつて北鐵買收は聯盟不承認決議の崩壞に大きな刺戟となるものとみられる

◇

また北鐵の國營化は軍事的にも**多大**な効果をもたらし新國家の國防安全感に大きな安定を與へるものと期待される、同時に恢復につぐ國內治安の確立を促進するであらう、北滿における治安恢復が遲々とした原因は一つに北鐵のソ聯經營にあつた、ソ聯經營下における北鐵沿線の警備狀態は極めて不良なものであつた、ソ聯赤系從業員が匪賊に關係があつた事件も今日まで相當數に上つてゐることは記憶に新らしい事實である、かくて國內鐵道の一元的運用によつて北滿における治安狀況は著しく改善されるものと思はれる

◇

北鐵買收が日本の獻身的な協力によつて行はれたことは滿洲國々民に日本の實力と誠意を知らしむる好機となり、日滿親善と日滿不可分關係の認識に大きな力を與へ、更に北滿民衆の對ソ恐怖觀念を淸算せしめると

同時に支那側に對してはソ聯との提携を斷念せしめる機會を與へることゝならう、又ソ聯側にあつては現在のソ聯北鐵從業員の家族併せて約四萬人の大部分は接收後歸國するが、中には革命後のロシアを全く知らない者も相當あり、これ等祖國を知らないソ聯人の大量的ロシア本國移入は共產主義と違つた社會の事情を一般ソ聯大衆に紹介する機會をつくることになる、而して現下の共產主義社會と資本主義社會との經驗的比較が行はれ何等かの形でソ聯社會大衆の對外國觀念に影響を與へ得る可能性を持つてゐる、北鐵買收が新國家にもたらす意義は色々な意味で大きい

北鐵管理局と松花江鐵橋

（上）廣田外相とユレニエフ氏
（下）クズネツオフ氏

新附の里子を慈悲の懷ろに 滿洲國交通部談

北鐵接收假調印は十一日午後八時三十分東京において假調印を了つたが午後九時廿分調印完了の電報に接した交通部當局者は面上に喜びの色を湛へて次の如く語つた

回顧すれば過去一年九ヶ月の長きに亘つて滿ソ兩國間の重要懸案であつた北鐵讓渡交涉は一張一弛の間に曲折を重ねたが遂に本日假調印を了り畫期史上特筆すべき大團圓にまで到達したことはいふまでもなく北鐵が、十九世紀末帝露國によつて建設されて以來本鐵道を中心に兩國間に幾多の紛爭が繰り返へされたのであるが、この禍根がせん除されたことは國際關係は勿論政治、經濟的に明朗な新情勢の展開を約束づけられたのである、今後はたゞ一すじに國際鐵道として新附の里子を滿洲國といふ眞の慈悲の懷に抱擁して交通機關としての重大使命遂行の機能を完全に發揮せしめて世界の期待に酬ひねばならぬ

偶語

主要驛の入場料制いよいよ四月一日から實施される、十日の社報で正式に發表されたのだから間違ひないはず▲誰が考へ出したことか知れないが、入場者の整理が目的なら無料入場券でも充分役立つし、それに一人十錢づゝはどう見ても高過ぎる▼各方面から相當反對があつた樣子だが、これを押切つてまでもやる當局者の眞意がどこにあるのか、こんなことはなるべく內地を見倣つて欲しくない▼首都常用馬車人力車組合では馬車夫にして乘客の遺留品を屆出た場合には表彰することになつてゐる▼誠に結構な話でこれは馬車組合に限らず料理屋でもカフエーでも滿人のボーイなど使用してゐる向きは斷然まねてよい▼一寸したものでも紛失した時は誠に不愉快である、その代りそれが發見された時の滿悅はまた格別、お客の居所がわかれば即座に屆けてやるだけの親切があれば必ずその店は繁昌するに違ひない

人事往來

▲河本大作氏（滿鐵理事）十一日午後歸京
▲入下沼敬頑（大連署長）同
▲[illegible]（奉天署長）同
▲[illegible]（撫順署長）同
▲[illegible]（文教部[illegible]）同歸京

三國間に横たはる諸種の重要問題！

解決には尚相當の曲折豫想

現在の日滿ソ外交關係で重要な政治問題は

ソ聯 極東軍備、滿ソ國境設定、北洋漁業、北樺太石油利權、日滿兩國の對ソ貿易、日ソ不侵略條約締結等の諸問題であるがこれ等の三國間の未解決案件は北鐵讓渡を機會に解決の氣運が釀成される事は豫想されるが、急速な全面的解決は望み得ないことは勿論で解決は相當な時日を要するであらう

◇

ソ聯の極東軍備は蜒々九百里にわたる滿ソ國境並に對日要衝地點に擴大され日ソ關係を刺戟してゐる、事變前僅かに歩兵四ケ師團、騎兵二ケ旅團に過ぎなかつた極東軍が

現在 では歩兵十數師團、騎兵二ケ師團、特別軍九聯隊、コルホーズ師團三師團總計二十數萬に達し更に約六百の軍用飛行機約二十隻の潛水艇が陸と海を固めてゐるといはれてゐる、この大軍備は日ソ關係を常に不安定な狀態に置く原動力であつて日ソ開戰說を叫ばしてゐるものである、日ソ親善關係は先づソ聯の極東軍備の縮少によつて始められなければならない

▼……滿ソ國境設定問題は北鐵接收後最も近き將來に來るべき問題とされてゐるが河川をもつて國境とする以外の地帶における國境線の不確定並に三角州の問題は滿ソ關係の好轉のために速かなる解決が要望されてゐる、而して滿ソ兩國は國境設定委員會なるものを

設置 して本問題に當るものとみられてゐるから恐らく近く解決するであらう

▼……日ソ不侵略條約問題は滿ソ關係の圓滑化によつて具体化するであらうとみる向もあるが恐らくこの機會には實現しないものとみられる、本條約を提言せるソ聯側ではかなりな期待を持つてゐるであらうが內外の情勢は締結の時期に到達してゐないと思はれてゐる

▼……北洋漁業問題、北樺太石油利權問題等も將來解決されなければならない重要懸案ではあるが相當の時日と迂餘曲折が伴ふであらうと見られ問題の解決には日滿兩國の確固たる信念による外交的手腕と優位な實力をもつて進まなければならない

今次 の北鐵交涉成立はよい教訓となつてゐるこれを要するに將來に殘された重要案件を列記すれば大体左記の如きものと思考される

一、滿洲國承認問題
一、國境確定問題
一、日滿ソ三國共同現地委員會設置問題
一、滿ソ國境非武裝地帶設定問題
一、北洋漁業及び樺太石油問題

ソ聯は何故に北鐵を手放したか

ソ聯邦が對滿政策遂行の唯一の機關である北鐵を手放すに至つた理由は

種々 取沙汰されてゐるが、その原動力をなすものはスターリンの一國社會主義建設可能原理であらう、プロレタリアート獨裁の最高權力者スターリンは最近數年間における國內情勢により對外平和工作の必要に迫まられ、外務人民委員長リトヴイノフ氏をして列强との協調政策を行はしめてゐたが日滿兩國に對しては從來ソ聯との紛爭の基因となつた北鐵を讓渡し紛爭の禍根を取除きを併せて、その讓渡によつて物資に缺亡せる國內の事態を援和せんとする意圖に出たものとみられる、このスターリン氏の一石二鳥政策が日本の實力と滿洲國の健全なる建設によつて促進されたことは見逃せない事實である、又滿洲國鐵道建設によつて經濟的に無能化せる

北鐵 を比較的高い價格によつて手放すためには早い方が得策であると思惟したソ聯政府が北鐵の讓渡によつて、日滿兩國と同樣不侵略條約を締結したと同樣な效果をもたらし更に從來極東方面に徙費した國家的勢力を暫定的にもせよ國內に向け社會主義建設の危機を救はんとした企圖は賢明であるといはなければならない、然しソ聯邦は唯物主義の國家であることを忘れてはならない、ソ聯は社會主義建設のためには大きな犧牲を拂ふであらうが社會主義建設の前には國家自身もまた大きな犧牲をも辭はないであらう

ソ聯 の外交政策は全てそこに起點を發してゐるものであつてソ聯邦はその意味でいつまでも火藥的存在である

有力紙論調

歐米列國は北鐵交涉の成行を終始多大な關心をもつて注視して來たが、讓渡成立に對しては滿洲國の北鐵接收が積極的に東洋平和世界平和に貢獻すべしとして好印象をもつて迎へてゐる

▽……ロンドンタイムス 「極東の動脈北鐵の讓渡」と題する社說 北鐵は敷設以來幾多政治上の紛糾を惹起せるに鑑み、これが讓渡は極東に對し非常な重大性を有してゐる、而して協定の結果同鐵道を一國の支配下に置く事は積極的世界平和に貢獻し得べきものであらう、惟ふに北鐵がなくば日英同盟無く日露戰爭も無かつたであらう

▽……スイスのジュルナール、ド、ジュネーヴ紙 ソヴエート聯邦は極東において挑發的行動に出でつゝ頻りに對日軍備充實に努めてゐる、この情勢に直面し日本政府が危險防止の對應策を講じてゐるのは當然のことであるが日ソ兩國は戰火を交へないであらう、滿洲國の北鐵接收は日本の東亞における自由行動を容認し滿洲から退却したものともみられ、それによつてソ聯は自國のために新疆アフガニスタン等における自由行動を得るに至るであらう

……歡びを表徴するポスター……

滿鐵改組の一飛躍

社線中心から國線中心へ

一元的統制に推進

滿鐵は滿洲國より北鐵經營の全權を委託された、從つて接收後に於ける

滿鐵 の地位は少くとも滿洲國の交通王國を築き上ぐることゝなつて滿鐵の地位は益々强化されたことになる、創立以來滿鐵は社線中心主義を執つて來たが北鐵をも委託經營することゝなつた今日此の社線中心主義で押し進むことが果して可能であらうか、鐵道會社としての大滿鐵が再吟味さるべき機運は既に到來したと謂へるであらう、滿鐵が今日迄執り來つた社線第一主義は今回の北鐵接收に依つて國線第一主義への轉向を餘儀なくされはしないか、尤も國線は目下のところ不經濟線多く從つて國線第一主義に立つ場合滿鐵社線は多少の犧牲は餘儀ないであらうと見られてゐるが

結局 に於ては同一事に歸着し鐵道政策としては國線第一主義に立ち社線、國線、局線の對立を解消し所謂一元的統制を爲すべく一大機關が設置されるに至りはせぬかこゝに滿鐵改組のモメントがある

北鐵附帶事業

將來は必ず有望

北鐵に於る附帶事業の多くは常に損失を續けて居るが、その設備等は槪して良好で、讓渡後これらに對し適當の改善策を講じたなれば、鐵道附帶事業として大いに期待すべきものがある、今主なる附帶事業を列擧すれば左の如し

一、學校及教育機關 主として從業員子弟の教育に當る

一、病院及醫療機關 病院は患者收容數六百名で設備は極めて良好である、此外出診所八ケ所、治療所十五ケ所あり、又從業員及一般のため沿線各地に多數の療食所及衞生施設が施されてゐる

一、ハルビン電話交換所 現在市政公署に於て管理して居る

一、松花江航運事業 現在政府の管理下にある

一、農事機關 二ケ所あるが實際には無價値である

一、木材伐採權區域 機關車の燃料及枕木等を供給するものである

一、工場
イ、製材所（材木伐採地にあり）
ロ、印刷工場（ハルビンにあり主として鐵道用印刷をなす）
ハ、鑛泉製造所（ハルビンにあり）
ニ、歐毛洗淨工場（ハイラルにあり現在操業し居らず）

一、自動車々庫

一、其他土地財產

白露人教育

根本方針成る

北鐵接收と同時に北鐵沿線のソ聯各文化機關は滿洲國に移管或は閉鎖されるが、文教部では此の機を捉えて建國以來の懸案たる白系露人の教育を根本的に改革し、滿洲國々是に則つた王道主義教育を施すべく濱江省教育廳をして具體案を作成せしめ愈斷行の運びとなつた、右根本的改革方針は

一、從來の白露人教育方針は亡びたる帝政ロシアを讚美し、徒らに昔日の夢を追ふ極めて非現實的のものであるが之を漸次滿洲國の教育方針に變へる

一、七ケ年計畫を以て生活並に思想的改革を行ひ第一期に於て職業教育の徹底、第二期に滿洲國々民としての意識の涵養を計る

二點であり、北鐵沿線各省の教育廳內に白系露人教育處なる機關を特設し教育の指導並に監督を行ふ事となつた、尙之と同時に白露人教育機關に對する補助費の增額、職業專門學校の增設、職業の斡旋等をも行ふ計畫で過去十數年間精神的不安と物質的環境に惠まれず、亡び去つた帝政祖國の夢を追ひつゞけて來たエミグラントも職業教育に主眼を置いた滿洲國教育方針の下に更生の途を辿るべく、今回の教育改革は滿洲國としても白系露人としても正に劃期的のものとしその成果は頗る期待されてゐる

因に現在北滿特區の監督下にあるソ聯小中等學校數は小學校七校、生徒男子一五九、女子二六五、中學校（初級中學校も含む）十三校、生徒男子二八九〇、女子二、七三五で二百六學級、職員三百四十五名である

誕生から身賣まで

北鐵の變遷

東清鐵道の母體は勿論シベリヤ鐵道であるがこれが實現されるに至つたのはアレクサンダー三世の晚年即ちロマノフ王朝の

華か なりし頃である 西チエリヤビンスクからウラジオに到る全延長七千四百餘キロに亘る大シベリヤ鐵道は一八九一年三月十七日の勅令により建設を命ぜられ同年五月十九日遙々東方の巡遊より歸國した時の皇儲ニコライによりウラジオに於て歷史的大工事の所謂起工式が執行されたのであるシベリヤ大鐵道は全長を七區三期間に區分して當時建設される事となりその迂廻線たるアムール鐵道（スレテンスクよりハバロフスクに到る）は最後の第三期工事に屬して一九〇一年に着手さるべき區間であつた、しかし左の迂廻線に先立つて直線コースである東清鐵道は去る一八九六年に起工されたものである、アレクサンダー三世の寵兒として當時の鐵相であつたウキッテ伯は日淸戰爭の直前頃には旣に滿洲を通貫する直線コースである現在の北滿鐵道建設の野望を抱いてゐたのである、即ち日淸戰爭に於ける淸國の大敗に際會してロシヤはこれを奇貨とし三國干涉及び淸國の前後借款斡旋に依つて淸算なりとし淸國廟堂の和平論者であり且親露主義者の領袖とされてゐた李鴻章をニコライ二世の戴冠式に招き露都に於て「鐵道なければ同盟なし」と說き遂に老大政治家を說き伏せて黑龍江省及び吉林省を橫貫して浦鹽に通ずる直線コースたる現在の北滿鐵道の敷設並にこれが經營權を獲得したのである、露淸銀行（露亞銀行）を名義人とする北滿鐵道の敷設及び

經營 に關する細目協定には當時駐獨公使であつた許景澄をしてその衝に當らしむる事として老大政治家たる李鴻章は歸國の途に就いたのである

◇……◇

尤も許景澄は當時駐露公使をも兼ねてゐた、併し現在の北滿鐵道敷設交涉當時は許はドイツに在つたので機を見るに敏なるロシアは直ちに當時の大藏次官たるロマノフをベルリンに特派し許景澄と社商せしめ、露淸銀行の代表者たるウフトムスキーと許景澄との名の下に去る一八九六年八月十七日東淸鐵道敷設及び經營に關する協約全文十二ケ條を締結せしめたのである、次で同年十二月十六日ロシア會社法に基いて現在の北滿鐵道會社條款が發布され初めて北滿鐵道はその產聲を發するに至つたものである、一八九七年四月十五日ヒルコフ公の率ゆる北滿鐵道敷設隊はオデッサ港を出帆し、一方同月廿五日ユゴウキッチ技師長の率ゆる一隊も陸路帝都を出發して翌一八九八年五月には全員現在の國際都市たるハルビンに集合して松花江の水運を專ら利用して鐵道敷設諸材料を運搬し起工に着手したのである、鐵道敷設隊は起工中例の一九〇〇年五月から十月に至る團匪事件に遭遇して空前の災害を蒙りながらも三ケ年の長日月を費して全延長一、七二一キロの北滿鐵道を敷設し一九〇三年には日下北平に餘世を送つてゐるホルワット將軍を北滿鐵道長官に任命して同年七月一日より全線の營業を開始したのである、その後同鐵道は南方大連及び旅順まで延長されたが

日露 戰爭後新京以南は一九〇五年日本政府の所有に歸し、日本は之を南滿洲鐵道株式會社に移管した

一九一七年のロシア革命後東支鐵道の地位は數年間明確でなかつた、尤も一九一九年七月廿五日及び一九二〇年十月廿七日ソヴイエート政府の發せる二宣言（俗にカラハン聲明として知らる）は定約により同鐵道を共同經營せんことを仄めかした、一九一七年一月より一九二三年十月に至る期間は國際管理下に置かれた

◇……◇

その後ソヴイエート政府及び北京政府間に締結せられた定約及び一方別個に奉天に於ける張作霖配下の東三省自治政府との間に一九二四年五月三十一日及び一九二四年九月二十日締結された定約に基き其の新地位が確立された、一九二四年の定約中の諸點で主なもの左の如し

一、東支鐵道はソヴイエート及び支那の協同管理により純粹なる商業機關として經營することとなつたこと

二、行政機關例へば都市行政法律、警務、稅制、土地管理等は支那政府に引續がれたこと

三、本共同經營は所有權には變化を及ぼさなかつた模樣であるが、支那政府は益金に對し財政的利權を獲得しその分配は共同委員會により決定される事となつた事

四、契約期間は建設及びその經營に關する一八九六年の定約に規定してある八十年を六十年に短縮し、且期間滿了後は無償にて支那に返還する事となつたこと

五、右期間は双方の定約によりなほ一層短縮し得ること

六、支那政府は何時たりとも双方協議の上定むべき金額支拂の上本鐵道を買收する權利を得たること

七、同會社の原條款は之等新協定に基き理事會により調節せらるゝ事になつたこと

末項の條項實現は遲延したものゝ如くであるが

之等 協約締結後兩者間に紛爭起り終に支那及びソヴイエート政府間に紛爭が釀されたが、會議を開き問題を解決すべしとのことで一先づ靜定した、該會議一九三〇年一月モスクワに於て開かれたが滿洲國建設まで何等最後的協約を見るに至らず、結局滿洲國政府が支那政府に代るに至つたものである、滿洲國の共同經營下に移つてからその名も北滿鐵道と改稱され、而して建國二年目の大同二年五月ソ聯リトビイノフ外相が大田駐露日本大使に對し、本鐵道賣却斡旋方を依賴したのが北鐵讓渡交涉の始まりであつた、以來滿ソ兩國代表に加ふるに日本をオブザーバーとして東京に會商が續けられること二年何回となく決裂の危機に瀕したが、兩國代表の忍耐と日本の好意的努力こに依つて遂に北鐵は滿洲國の所有に歸し、極東平和の障碍が一掃された

北滿

匪襲下の方正縣 滿國軍の出動で鎭靜 日本人に損害無し

【ハルビン國通】方正縣城占領事件に關しその後當地着情報に依れば謝文東、趙尙志、李花堂の合流匪團六百は九日午前四時頃城內東南門より大擧襲擊各所に放火した爲民家百餘戸及び參事官、警務指導官の公館等が燒失された、急報に依り出動した滿洲國軍部隊は同日午後二時頃現地に到着、縣城占領中の匪團に對し急襲を加へた結果匪團を東北方に擊退し尙も追擊中である

縣公署內の日系官吏八名及び城內居住の日本人五名は全部無事なること判明したが、滿洲國側では縣警察小隊長一名滿洲國軍兵士一名戰死を遂げ警佐四名重傷を負ひ警務股長一名を拉致された、目下城內の治安は滿洲國軍部隊の手で維持され人心動搖も全く鎭靜したが、匪團の放火、掠奪等で城內は未だ悽慘な氣分に包まれてゐる

虎林の模範村 その業績！ 本池少佐の報告

【ハルビン支局發】若山本部隊宣撫班長本池少佐が寧安縣下を宣撫工作中、第六區五虎林に於て、模範的自衞團總趙寶義氏（五十二歲）の業績を發見したことは既報の通りであるが、右につき本池少佐は大いにその偉業に感激し、濱江省に報告して、直ちに表彰の手續を執ると共に、左の如く右自衞團の實情を詳細にした

趙寶義氏は德望高く、人格高潔にして淸廉、義俠心に富み細民救濟に專念して地方民からは神の如く敬慕されてゐる、氏は又所有田地五百町歩を有する寧安縣下の豪農であるが、極めて日常生活は素衣素食に甘んぢ簡易生活を送るを以て、その信條としてゐるが如き人物である、氏は民國六年に五虎林に移住し孜々として農業に勵み今日の大をなしたる立志傳中の人物でもある趙寶義氏は五虎林一帶が連年の匪害のため衰滅することを憂え、自ら自衞團を組織して部落毎に自衞團を組織せしめ、その數十九ケ所一地區に二十名前後の團員を有するが、各區に鐘樓を設け、匪賊の襲擊を受けた際は鐘を亂打して部落民に警報する、警報を聞いた自衞團員は直ちに急援する組織になつてゐるが、事變以來匪賊との交戰五六十回五百挺の武器を押收するなどその功績顯著なるものがある、常に趙氏は老軀をひつさげて先頭にあつて匪賊討伐にあたるなど自衞團員間に信望が厚い、今や第六區には匪影を見ないと言はれてゐるが、之は全く趙氏の努力の賜である

哈市水運局の 各地愛護村 發會式

【ハルビン支局發】ハルビン水運局の哈同自動車路線の愛護村設置計畫は既報の如く巴彥、木蘭、通河、三姓、湯原、呼蘭、佳木斯、富錦、綏濱に設置されることに決定し、去る二十三日ハルビンを出發した準備班は先づ巴彥に到着愛護村發會式を擧行したが、發會式には地方官憲を始め民衆多數出席して未曾有の殷盛を極め意義深き礎石を置いた、次いで通河、木蘭、呼蘭と順次發會式をあげたが、他地區は氣候溫暖のため氷がぼつぼつ解け始める仕末にて通河以北は自動車の通行が危險のため一時中止することになつた、追つて解氷を待つて他地方の發會式をあげる手筈になつてゐる、ハルビン水運局自動車事務所發表によれば、哈同間自動車運轉は、意想外に早い溫暖のため自動車運行が河下方面は追々危險になつたため通化以北は貨客の運搬を本月三日から中止した、追而全線の自動車運行は玆二週間もすれば一時廢止される模樣で從つて自動車事務一般は取扱を中止し事務所は一時的に閉鎖されるものであると

ハルビン神社 御神體の 奉遷祭

【ハルビン國通】九日午前牛木民會長、和田神官によつて奉戴されたハルビン神社御神體三体は若山本部隊內假殿に奉遷されたが午後十一時半假殿內で修祓を行ひ午後零時を期して中央寺院前のハルビン神社本殿に遷座された、深夜の大直街は焚火の光りに照されて御神體は御輿に奉安され警官の先驅に續いて步兵一箇小隊、神官、牛木委員長、眞榊に續いて八人の白丁に擔がれ氏子多數從つて同二十分檜の香も新しいハビン神社に到着、直ちに本殿に安置されたた續いて同三十分より修祓、奉遷の儀あり、野口祭司祝詞奏上、玉串を奉奠 閉扉を行ひ本殿祭は極めて嚴肅裡に終つた、これより先午前八時三十分より鎭座式を擧行、若山〇〇團長、森島總領事、その他日本各代表それぞれ參拜玉串を奉奠した

東滿

敦化の三月十日 各種記念行事 盛大に擧行さる

【敦化支局發】三月十日陸軍記念日を記念し且つ滿洲國獨立の意義を强調する敦化防空演習並びに燈火管制實施演習は十日盛大に擧行され「我が滿洲に對し不法侵略を敢行し八日來敵の偵察機及爆擊機よりなる數十組の編隊は首都新京を初めハルビン、奉天等の主要都市を空襲、すでに京圖線上空にも屢々敵機の去來するを見、吉林、延吉、圖們等にも輕度の空襲を蒙りつゝあり」との情報を得た敦化防衞司令部では松井司令以下全員を動員し、敵の空襲に備へ各班はそれぞれ部署につき十日午前八時を期して一勢に活動を開始した

國防婦人會 活躍

【敦化支局發】敵襲の報一たび傳はるや敦化日滿兩國一般市民は共同防衞の立場から協力し防衞司令部の指示のもとに防空工作に大童の活動を開始したが、これより先敦化國防婦人會では草野支部長以下全員を動員して焚出しを開始すると同時に一方救護班員として目ざましい活動ぶりを示した

防火班活躍

【敦化支局發】敵襲（假想）のため火さいを起した主要官廳消火のため出動した敦化義勇消防隊はこれが消火につとめた

燈火管制

【敦化支局發】日滿軍民一致の統制ある活動によつて一旦擊退せられた敵機は得意の夜襲を以つて再び敦化を空襲、（想定）警戒警報につゞき空襲警報は亂打されサイレン汽笛によつと一般市民に報知され午後七時から一せいに燈火管制がしかれ豫想以上の効果をおさめた

また戰爭？ 滿人おどろく

【敦化支局發】十日防空演習に際し一部滿人間に動搖を來し家族道具をまとめて避難せんとするのナンセンスを惹起したが警務局員の說得によりやがて平穩にかへつた

陣中の記念式典 敦化〇〇隊

【敦化支局發】三月十日陸軍記念日に際し敦化〇〇隊では敦化防空演習を擧行したが同日正午陣中に於る日露役三十周年記念式典を敦化神社に於て擧行、引きつゞき神社前に於て分列式を擧行した、尙同日午後二時から敦化小學校に於て祝宴をひらき日滿官民多數を招待松井〇隊長の發聲で大元帥陛下の萬歲を奉唱、日滿兩國の國防一元性を强調した

不良朝鮮人を嚴重に取締る 朝鮮民會の自淨工作を督勵

【吉林國通】吉林省城に於ける朝鮮人不良遊民の跡絕えず取締り官憲頭痛の種となつてゐるが、總領事館警察では今回それら不良鮮人の一掃を決意し、朝鮮民會をして自淨工作を行はせることゝし徹底的に取締り歸農正業に就くの外なきに至らしめる方針の模樣である

不振だつた 二月の花柳界

【吉林支局發】當吉林に於ける內鮮料理店十四軒の總揚高を見るに四萬五千三百何十圓に止まり、正月よりは六千四百何圓と云ふ大減收、筆頭の金花が僅に一萬圓を超えた許りで、筏、博多屋等は九千圓台に落ちてゐる、尤も之れはどの土地でもどの年でも正月の呑み疲れ、遊び疲れで二月の揚高の少ないのは通例とされてゐる所であるから、水溫み草萌えて人の心の陽氣になる三月以降は自然と此巷に運ぶ足數も繁くなる筈であるから强て悲觀するにも當るまい

殉職官吏の 慰靈祭

【吉林支局發】六日滿洲國戰歿勇士の招魂祭が北山で行はれたのに引續き省公署に於ても輝かしき建國の歷史を飾つて地下に眠れる殉職官吏の爲めに八日午前十時半より民衆運動場に於て盛大なる慰靈祭を行ひ日滿官民多數の參拜があつた

吉林同文商業 入學受驗者 五倍に達す

【吉林支局發】當地に於ける滿人子弟商業教育唯一の機關たる同文商業學校（滿鐵主体教育廳補助）は大正二年創設と云ふ古い歷史を有し乍ら事變までは不振の嫌ひを免かれなかつたが其後日語熟の勃興內容の充實、百パーセントの就職率等の好材料に惠まれて年毎に伸展の實を擧げ來り、去る三、四兩日に亘つて行はれた入學試驗には定員五十名に對して二百五十名と云ふ五倍の受驗者があり、生徒の素質は一層の向上を見ることゝ思はれるが、本試驗成績の發表は十一日午前十時である

間島四縣の 總人口調査 五十六萬五千 五百九十二人

延吉地區治安維持會の調査によれば昭和九年末現在間島四縣即ち延吉、和龍、汪淸、琿春の總人口は五十六萬五千五百九十二人で、うち

（內地人）二千三百五十戸一六千六百三十八人

滿洲（人）二萬五千三百七十戸一十四萬七千百十八人

（朝鮮人）七萬三千九百四十一戸一四十一萬千七百三十一人

（外國人）三十七戸一百十三人である

尙各縣別の內譯は左の如くである

國籍別	戸數	人口
延吉縣		
內地人	二、〇一二	五、五〇七
滿洲人	一四、〇〇四	八三、五二一
朝鮮人	四一、九一七	二三九、五四四
外國人	三	一〇三
和龍縣		
內地人	六六	二三三
滿洲人	一、二二三	五、八六八
朝鮮人	一七、五〇一	九一、二三四
外國人	一	一
汪淸縣		
內地人	九六	二六八
滿洲人	四、一七一	二六、一九六
朝鮮人	五、七三五	三〇、四二七
琿春縣		
內地人	一七六	六六〇
滿洲人	五、九六一	三一、五七七
朝鮮人	八、七七七	四〇、五三四
外國人	四	一〇

南滿

奉天の戰捷は一に神風である 記念日當日高柳將軍の放送

【奉天國通】陸軍記念第卅周年記念日に當り當時の從軍將校である高柳中將は「奉天戰をしのびて」と題して奉天放送局を通じ午前十一時から全日滿へ向つて左の如きラヂオ放送をなした

×

私は只今奉天城門の下にたゝずんで居ます而して吹きならされたるラッパによび起されてそゞろに卅年前のむかし、乃ち明治卅八年三月十五日に於る大山將軍の奉天入城を思ひ浮べるのであります

先づ前驅の護衞が此城門を通り過ぐると防寒外套に其身をつゝみ、武裝も凜々しく溫顏に雄々しき面差しを湛え、たくましき馬に大きな體を乘せて眞先に此方へ進んで來られるのが大山將軍である、之に次ぎ同じいでたちで颯爽と申しませうか如何にもさわやかできびした顏の兒玉將軍が見える、其後には高級幕僚其後には幕僚、部員といつた順序に滿洲軍總司令部の顏觸れが續くのである

×

此一行を迎ふる街の家每には日本國旗、支那國旗が揭げられ、赤街を跨つて庇から庇に何か喜びの字を書いた引幕が張られて如何にも景氣がよい、民衆は此の戰の直ぐ後で餘り多く顏を出してゐませんでしたが、それでも彼處此處と其一團が立並び出迎者で眼に立ちしは樂隊を連れての支那文武官、それに外國武官並外國新聞記者で、それにも增して人々の眼をひきしは我軍隊の堵列であつたらうと思ひます

此時、鴨綠江軍、第一軍、第三軍、第四軍は皆敗れし敵軍を追ふて北に進み、奉天附近には獨り第二軍が駐まつて、戰の後始末をして居りましたが、堵列軍隊は其第二軍に屬せしもので、街の兩側に遠く長く此堵列軍隊が立ち列ぶ、此軍隊が次から次にと吹き送る敬禮喇叭の音につれて、總司令部一行の步みも輕く緩かに此間を通る、馬上から見下す一行の眼には將兵に對する勝軍の感謝が輝き、見上ぐる將兵の執る劍と銃には我等の總軍司令官ぞと敬ひ慕ふ心のひゞきを傳へて居ます、これこそ今日の入城式に於ける吾等の深き感激であらねばならなんだ、此入城式の光景は既に明治神宮聖德記念繪畫館に鹿子木畫伯によつて描き出され、亦此寫眞を大每東日が繪附錄として三月五日に、讀者に分配して居りますから、此等によつても此入城の有樣を思ひ浮べることも出來ます

軈て一行は用意されたる支司政廳の陣舍に入つたが此度支司政廳とは當時滿洲に於る大藏省と云つてよい所です、而して其後總司令部は此處に駐りまして其後の作戰を計畫しよく寫眞に出てゐます二元帥 六大將の會合も此處で行はれ此家は今猶ほ此處から程遠からぬ所に殘つてゐます、入城式の朝は長閑でありましたが午後に至つて風立ちさわぎ砂塵の天氣に變つた、此砂塵に就ては奉天戰に附添ふ忘れられない思出があるので玆に一寸それを述べますと、それは奉天陷落の三月十日即ち三十年昔の今日此十日の前日なる九日、此日は朝から此季節には滿洲で珍しき生溫き南風が吹き起つてこれぞ春の訪れと思はしめたがそれが九時頃となると强風となり烈風に變り此烈風は塵を立て土を捲き上げて所謂黃塵萬丈、天地を灰色に包んでしまひました

×

指折り數へると我軍に依て喚び起されし此奉天會戰は二月二十三日に始り此日は丁度十五日目に當つてゐるが、幸ひ到る處に敵軍をけちらして、もう一呼吸と云ふ所で之をふみにじる迄になつたもの、敵軍も此處ぞと却々に屈服せぬ我軍隊は勞れ切つてゐる、そこへこの南の大風です、北側に立つ露軍が我軍と戰はんには北南風に向はねばならないので、そうした時には眼も口も開けられないと云ふ始末、之にうつて代つて我軍は、風を背負ふて敵に向ふので、陸上ではあるが、追風に帆掛けると云つた鹽梅で、これぞ神風じやよと、此風をくゞつて我軍は、渾身の勇氣振ひ起して、敵軍を薙ぎ倒すのであつたが、敵軍の全く敗れし翌十日には、風はなぎ、塵も收りて、輝しき日の光の下に我軍は剩すところなく奉天城を占領したのであつた、そうして我軍の廿五萬に對し、敵軍は卅二萬の多數を算したるに不拘、美事なる勝利を得た上に、二萬一千七百九十二名の捕虜、四十八門の大砲、三旒の軍旗と、其他澤山の分捕品を收め獲た次第である

×

併し之が爲め敵軍の死傷者も九萬に上つたが、我軍とても七萬人の死傷を出してゐます、それでこゝに國の爲めたほれし將士の爲めにちよつと默禱を捧げまして

さて、こゝに述べました神風に就てゞありますが、是ぞ全く皇祖の加護、陛下の稜威としか思へず、此戰に參加したものは皆斯く信じてゐます

そうして此神風は、今度に限りませぬ、むかし、日本武尊東征の時、尊の劍先に此神風が顯はれ、又、弘安四年の元寇の時 鎌倉武士の矢先に此神風が顯はれ、今度は我軍の筒先に此神風が顯はれる、誠に皇祖の加護、陛下稜威はこれによつても片時も忘るべきでない今は非常時と云ひますが、此非常時に際し此事を一層心深く感銘せねばならぬと云ふことを玆に述べまして此講演を終ります

鳩胸の子供は
結核に罹り易い

佝僂病的體質の一現象としてあらはれてくる鳩胸はその度が輕いのは凸胸といふが、要するに、これは虚弱体に生ずるもので、原因は石灰分が不足することにある、鳩胸の兒童には石灰分を含んだ物―牛乳や、野菜や、骨ぐるみの魚―を多量に與へるやうにする、魚では鰯などが殊によいと思ふ、肉と骨を一緒にたたいて團子にしたり、骨をよく燒いて煎餅のやうにして與へるとか、種々の植物に牛乳を混じるとかしてカルシユームの豐富なものを種々に選へて與へるとよい、但しカルシユームが充分吸收されて身体の成分となるにはヴイタミンDが必要である、從つて鳩胸兒童はできるだけ、日光浴をせねばならない、といふのはヴイタミンDは皮下脂肪が日光の紫外線によつてつくり出されるからである、日光浴のほかに空氣浴をやり、また乾布摩擦を試みて皮膚の鍛錬をはげみ、結核の誘因となる感冒にかからぬやうにしなければいけない、日常は戸外の解放的な雰園氣で且つ空氣の清潔な場所で跳ねまはり、飛びまはつて活潑に遊ぶそして胸部の筋骨を發達せしめるために、胸部を左右に開閉する運動―たとへばボール投げの如きを大いにやる、活動寫眞館とか雜踏してゐるところに連れてゆかないやうにし、夏は高原地方、多は溫暖なる海邊地方に過させるといふことも事情が許せばやるべきである

未完成交響樂

＝獨シネ、アリアンツ映畫＝今春封切られた映畫中、まづもつて隨一と目くされる逸品です、シユーベルトにとつて余りにも有名すぎるロ短調交響曲『未完成交響樂』を主題とし、全篇みなシユーベルトの作品を以つて飾られる、彼の生涯が有つた逸話の展望です、ウイリイ、フオリストの第一回作品、マルタ、エゲアト　ハンス、ヤーライ等の主演、新京映畫鑑賞會が此の映畫の上映を目論んでゐます（寫眞はその一場面）

お上品な日常の化粧

近頃の若い婦人方の樣子を見ると、白粉も紅もまこ〻に無氣味な程濃厚で自然の美しさが出てゐません、第一公式或ひは第二公式等の時は華やかな衣裳にふさはしい厚化粧も必要ですが、それ以外の普段には次のやうなしのび化粧こそ奧ゆかしく貴女を引立たせるでせう、白粉は粉にしても練にしても自分の肌によく適ふものを用意しなくてはなりません、勿論白い白粉は禁物です、クリームや化粧水で自分に合つたやうに肌の下こしらへをした上に、練白粉を薄く水でといて（水白粉を使つても結構）つけます、濡れ手拭でそのあとを輕くなでて上に浮いてゐる白粉氣を取つてしまひます、眉墨は黑々引くといかにも作つたやうでいけませんが、少しも描かないのも物足りぬ感じがします、まばらになつてゐるのを續ける程度の、ごくあつさりした描き方で最後に指先きでなでておきます、口紅は自然の唇の色に見える位の薄さに下唇と塗り、その殘りで上唇を拭く程度につけます、かうしたかくし化粧は奧樣にもお孃樣にも本當におすすめの出來るお上品な日常化粧です

朗らか小父さん

今日の献立

〜朝〜 味噌汁

＝つまみ菜を入れませう、納豆にはおろしを混ぜて頂きます

〜晝〜 油揚げと大根の煮物

＝大根は皮のまま大きくそぎ切りにし、油揚げは三分くらゐの短册に切り、煮出汁をたつぷり加へ、醬油と砂糖少しで味つけして煮上げます

主婦のメモ

鹽鮭の鹽拔き

鹽鮭の鹽拔き―鹽鮭は一尾のまま切らずに鹽拔きをすると味が逃げないで具合よく鹽が拔けます、しかし一尾のまま水につけるには相當大きな入物が必要ですが、夜洗ひ流しがすんでから流し口に栓をして水を一つぱい入れ、その中へ一晩浸けてをきます、若し一晩で不足でしたら、二晩でも三晩でもこれをくり返すと具合よく鹽拔きが出來ます

〜晩〜 鮪のバタ燒

＝鮪をバタでいため燒にしたのも大そう美味しいものです、一切二十五匁くらゐとして鹽と胡椒を振り、フライ鍋にバタを少々煮溶かし、ジユツと兩面を燒き上げます、附合せはこの後で玉葱を小口切りにしていためます、別に蛤の清汁をいたしませう

メモ

春になるとお顏にハタケが增えますハタケは美容を妨げるほどのものではありませんが、捨てて置くと增々殖えることがありますから、顏をよく拭つた後、テール膏を薄く一日一回塗つて置くと自然に治ります、又時にクリームを塗つたばかりで治ることもあります

お化粧として特別に變つたこともありませんが、クリームをつけて當り前の通りにすればよろしいのです

◇

おなかが、殊に胃が空になつてゐる時は、胃の兩側の壁はピツタりくつゝいてゐて、その內面は中性の粘液で蔽はれてゐます、この時の胃は即ち休息の時であつて、胃を刺戟するものがなく、靜かに消化力の疲勞を回復してゐるのです、つまり絕えず食物を入れておれば　この疲勞回復の時がなく、絕えず胃壁は刺戟されてゐるので、胃の力は次第に弱つてます、食事は規則正しくせよ間食に注意せよ、といふ事の意味はこれでよくおわかりになりませう

身上相談

法律、或は醫學上の相談はじめ身の上に關する一切の御相談に應じます、御遠慮なく御利用下さい（本社相談係）

（問）御社の身の上相談は誠に結構なことゝ存じます、就ては私事愛犬家の一人ですが新京には何處に犬の病院が御座いますか、そして、私のところの愛犬が頃はちつ內にできものがして出血しじやくろの實のつた樣なものがたくさんあります此の病氣は、何んといふ病氣か又その治療法をお知らせ下さい（愛犬生）

（答）多分顆粒性ちつ炎か或は「ちつ痛」かと思ひます療法としてはリゾール、クレオリン、明礬等による灌注を行ふのですが、症狀によつてはタンポン坐藥塗藥等色々あります、詳しくは祝町新京家畜病院（電話五四一一）に就いて直接おきゝ下さい

口の表情
齒を見せるな

口にも表情があります笑つた時怒つた時、つんとした時―そして美容は怒つた口には決してありますまい、といつて笑つてゐるばかりでも困りましやう、輕く結んで口を無理に細工しないのが宜いでしやうが、そうして笑ふのも結構ですが齒ぐきを出すまで笑つてはいけません

左の樣な病氣にかゝつて居りますが、何んといふ病氣で手當はどうしたらよいでせうか知らせ下さい

年齡は四才の牝ですが二、三度交尾期が來て交配させても一度も受胎したことがなく近

家庭醫學

驚く程多い妊産婦の死亡率
つはり、浮腫、衰弱を豫防し産後を丈夫に經過するには

日本に於ける、一年間の死亡者六十萬人の中、妊產婦死亡者が約六萬を占めて居ります……

先づ良好であつた人は

特に姙娠中に罹る

毒素

胃腸も肺尖も惡く痩せ衰へた幼兒が

（寄書）田村キノヱ

實驗

腸自家中毒の療法が發見された
長命の要訣は腸を大切にすること

藥劑の選定法

姙娠期の頭腦強壯法

妊産婦に便秘は害を

學藝欄

工作による人間教育の一端（二）

山口秀太郎

又作爲教育の大立物であり後には

文化 教育學者の色彩濃厚となり兩者の結合に努力して二三年死去した獨のケルシエンシユタイナーが傳承的知識を單なる經驗的知識を補ふ所に價値ありとしたのはいさゝか偏重ではあるが經驗的知識を重要視せるは至當である、一言以てぜば手工によりより深い意味の知識を學ぶことが出來ると思ふ

次ぎに美育との關係を考察するに低學年の平面的（勿論立体的構成もあるが）から高學年の立体表現に至るまで、子供は子供ながらの美的に作らう、表現しようと努める、それは强ひられて已むを得ず美的に作らうとしてゐるのではないらしい、ここに人間に於ける本然的なアプリオリな、美を求める、美に接近せんとする本能的なもの衝動的なものを認めることが出來る、手工は平面的な表現に於ても部分の形、全体の形、調和、變化、統整などがその內容の一部、否ある意味に於て大きな大部分である、更に立體構成に於ては、ボール紙細工にせよ、粘土、木、金にせよ、全體の形態の意匠統整を亂さぬ程よき變化、手工圖案を如何にすべきか、單なる所謂圖案にあらずして、目的のはつきりした一製作物の

性質 用途から考へて今自分の目前にある作品の而もこゝに配する圖案として考案せねばならぬ否考案せねばならぬ欲求に迫ひたてられてゐるのである、同じく圖案にしても木工の透彫と幾畫の圖案、粘土に於ける圖案、繪具で描く圖案、木版リノリユーム版の下繪等々皆各々によつて圖案を考案するに考慮せねばならぬ點がある、即ち實際今これを工作するのだとなると表現するものによつて圖案の樣式なり精粗の程度、加減等考へられねばならぬ、これ即ち實際その製作に經驗をもつた人でないとその圖案がうまく出來ないと言はれる所以だらうと思ふ、更にその圖案が全體の美しさを高めるにどれだけの効果があつたか、又美しさを低下させたか—（圖案それ自身が美しいかと言つて何處に施しても必ず全體を美しくするとは考へられない）を比較し反省する必要も出て來る、其處に又美育の正しい道が曲折しながらも確かなうねりである、又材料そのものから來る美しさと言ふものがある、色テープで表現された美しさと粘土のそれとは同じ美さであつても感じの相違は當然である、即ち物質美といふものでせう兎に角、工作物の全體的整統美それを

補ふ 部分の美しさ、施されたる圖案色彩等、美育に貢獻する所大なりと言はねばなりません更にこんなことも考へなくてはならない、それは社會的感情の養成と言ふことでこれへのひ益も決して僅少でない、これは獨り手工科のみとは限らない、學校生活それ自身が一つの社會生活だから、而し特に言ふところの所以は共同的勞作といふ點から簡單なる所作材料でもあるがそれによつて現代文明体認であると言ふことから、デユーイが教科價値等級に於て手工を第一とし學校を工場化せんとしたのは大局から見て不當ではあるが共同的勞作により社會的感情を養成せんとした一つ動因はこゝにあり正當なることであり、又ケルシエンシユタイナーが作業（手工）を重んじた一因たる公民教育の中にはこの社會的感情の養成が主なる部分を占めエレンケー女史の未來の學校は大きな手工室を有つたものであることを照合してその價値僅少でないと信ずる、更に德育—意志陶冶に就て考へて見ると、手工は考へ方によつては勞作を中心とした自己發展である而もその勞作たるや單なる機械的でなく、物質的の活動でなく、實に精神的の活動であり人間的の活動である

勞作 は內面的なものを外部に現し、見えざるものに形態を賦與する所の人類特有の生活形式である

手工をする時の子供の勞作を靜かに眺めて見ると其處には何等の妨害もない素直な自由な心の躍動を見る

北國文壇の荒蕪

一つの滿人文學論

大内隆雄

滿洲で出てゐる或る漢字紙に「北國文壇荒蕪之原因」といふ論文を見付けたのでその大要を紹介してみたい。それは滿洲文化、滿洲の文學といふものに關心を持つ人々に何らかの參考になるであらうからである。

われらの文壇は批評は不景氣で、創作は幼稚過ぎる。これはもう數年來の定評だ。其原因は何處に在るだらうか？　一人の論者は斯う言つてゐる

一、熱心な作家たちはゐるのだが、彼らは何のために書くかが判つてゐない。

二、彼らはまたどんな風に書いたらいいかを知らぬ。

三、彼らには社會の實相についての徹底した理解が無い

四、彼らには指導者が缺けてゐる。—

×

思ふにこれらの原因中、本當に然うなのは第三と第四のそれであらう—第一と第二とは第三、第四から派生した問題である。

所で、此國における作者たちには、年少の者が多いのである。統計を取つたことは無いが、三十歳を超えた者は甚だ少い。これが社會の本當の姿について知ることの少い一つの原因となつてゐる。

同じく又眞に社會を理解するには、人生の苦難を體驗し實際に直接に生活の艱難の間に身を處しその如き社會的な仕事を自らやつてゐなければならぬ。が、實際に社會工作をなす者は多く三十歳以上の者である。

第三にまだ在學中の學生で創作に從つてゐる者が多い。彼らの見解が狹く限られたものであるのは言ふまでもない

第四に、批評家に要求されるところのイデオロギーの點について其處には「八萬層」の壓制が存する。これが大きな妨げとなつてゐる。

第五に、此國の創作家の持つ意識が低級たと言はれる。その意味は特殊な階級性を明確にしたものを希望してゐるのであるが、實際の所これは現實に添はぬ奢侈的な議論である。

第六に、此處の社會が活潑さを缺いでゐる。從つて作家が感動を受けることが少い、又これまであつた變動は事情によつて扱へないのである、そういふものは刊行物に載せられないのである。

第七に、作家批評家たちの「桃紅色」の職業（大内いふ—この意味明瞭でない、暫く原語のまゝ書いてをく）が社會の理解を不可能にしてゐる

×

以上私は忠實に要點を摘出したつもりである。必ずしもすべて當れりとは言ひ難いと考へられるが、ともあれ滿洲において、若き滿人諸君の手によつて築かれつゝある文學の情勢について、われらにかなりのヒントを與へてくれた丈けでもこの論文は無意義ではなかつたと思ふのである、いはゆる北國文壇、漢文による新しい文學についてはなほいろ／＼の問題があり私は非常な關心を持つてゐるのだがとりあへず今はこの一つの論文の紹介にとゞめてをく。

コドモの世界

新京公學校　兒童作品

新京　新京公學校高一信　王月海

新京はもと長春といゝました。建國以來、滿洲國の首都と定められ新京と名を改められました。人口は、約二十三萬その中日本人が四萬、滿洲人が十九萬、日本人は建國以來毎年毎月大變多くなつて來ました、市街は附屬地と、城內と、商埠地に分れてゐます、城內には宮內府、國務院、其他滿洲國の各官署があります、又中央銀行學校會社などがあります、商埠地は附屬地外で一番繁華な町で大きな、商店が軒を並べラヂオや、蓄音器の音、往來する人の聲、馬車自動車の音で、とてもにぎやかです。附屬地には、日本大使館、關東軍司令部、總領事館、などを始め、大きな公園や、大きな學校、など設備がよくととのつてゐて、市街は城內商埠地にくらべると、とてもきれいです、私達の學校はその附屬地の中央にあります。新設屯、は二、三年前までは、廣い野原でしたが、今は文教部、財政部を始め大きな滿洲國、の建物が、穴萬く聳えてゐます。近くには滿洲國の宮舍が色形面白く立ち並び、今では、立派な、官舍町です國都新京は今後ます／＼立派になることでせう。私達はこの新京で勉强の出來るのをこの上もない幸ひと思つて、一懸生命に、やつています。

今朝目がさめて　高一　劉文進

私はゴト／＼する音で目が覺めました。暗い所でボーイさんがストーブを焚いてゐますまだ時間が早いのでせうか外はうす暗く、電燈のスイッチをひねつたら、目がいたくてしばらく何も見えませんでした。台所ではコックさんが朝食の支度をしてゐるやうですストーブがよく燃え出すと床の中も一層暖く、起き出るのは本當にいやでした。暫く日本語の本を讀みました。けれども何が書いてあるかわかりません。そして昨夜の夢を思ひ出したりします。又新聞を讀んで見ますがやはりわかりません。その時です、ガチヤンといふ大きい音がしたのでびつくりして目が一度に覺めたやうでした、思ひ切つてはね起きて見ると、ボーイさんが皿をわつたのでした。もう仕方がないと思つて顔を洗つた時の氣持よさは、何とも言はれません。

◇週刊極東　第四四〇號（三月三日）吉田公堂「崇高なる我國体と吾々國民の大信念」ダンス界カフエー界、花柳專紙等（大連市但馬町三三週刊極東社定價金三十錢）

◇大吉林　三月號　從來の「雙人」を改題したもの、楠部南崖「共存共榮辯」西野耕正「吉林の沿革」野嶋島人「吉林覺書」「吉林展望台」等、なほ特色ある俳句欄は各地よりの寄稿で充實してゐる（東京市下谷區谷中町一〇俳華堂發行定價金三十錢）

◇文化農報　三月號　農業園藝關係の記事豐富、なほ松原晃「佐藤信淵論」田岡好「鄕土民謠考」がある（東京市麹町區丸の內一ノ八文化農報社發行定價金二十錢）

◇政治經濟公論　二月號　上原道城氏主宰の政治論を主とした雜誌、關西財界明暗錄中近江人氣質を發揮した駒井會の成立消滅等面白く讀める（東京市四谷區箪笥町十二政治經濟公論社發行定價卅錢）

映畫評 ××

若草物語

健康な感傷篇

清淨な愛の歡喜が、ほの甘き少女の持つ感傷と、家庭の持つ抱擁の暖さと、そして健康な宗教的色彩とに混淆されて鮮やかにも繰展げられた新鮮若草の物語りである、家庭の健全に、團欒の時折に、かく人の傷心に觸れる感懷のあることを知るのである、殺伐な喧騷の世相に、時にかうした愛と感傷の隨喜を見出すことも、あながち、甘いからと云ふ理由だけで、一蹴すべきものではなからう、寧ろそうした世相へ、亦は、そうした世相に反映されてゐる映畫界への、反撥の一彈として、かうした映畫の製作意圖を考へてみる時、隨分と勇敢な試みであつたと思はれるのであるし意外な効果を擧げてゐることにも注意しなければならないと思ふのである、案外忘れてゐたものを見出した喜び—そんな感激が此の映畫から汲み取ることが出來るのである、事實、此の映畫を觀て、これが最近のアメリカもので「RK、O」のマークのついた映畫であることに、今更の如く認識を新たにするものを感ずることであらうし、正直案外な感に打たれることでもあらう、この映畫の優れてゐる點は此の種の映畫のもつ危地から完全に身を引いて了つてゐる事である、少女のもつ心理と感傷と、そして憧憬とをもつて貫ぬかれてゐる此の映畫の內容には、その感傷の甘さに溺れて了はせる箇所が餘りにも多過ぎることだ、と云ふよりこれが此の一篇の主題であるのだが、流石にジョージキユーカーはその甘さに溺れることなく、淡々たる手法を以つて誠に地味な、それでゐて細やかな心配りを忘れぬ描法を試みてゐる、そして健康な感傷の喜悅が、清醇な愛情の昂奮にまで高められて、ぢつとりと人の心を濡す雰圍氣を構成してゐることだ、四人の姉妹の個性を要領よく生して見せた點など喜ばしいことである

原作は尨大な退屈なものであるらしいが、そうだとすればセラー、Y、メースンとヴイクター、ヒアマンとの共同になるこの脚色は要領を得たものと云ふべきだ、アダプテイションの妙味が與つて大なる所があると云ふべきだらう、但、後半にいたつて四人の姉妹が別れ別れになつてからは幾分統制を缺いでゐる點があるが、さした破綻を見せてゐないのは買つていゝ所である前半の好しき若草達の物語りに一層の愛著を覺えるのは、あながち筆者だけではなからう、四人の主役に扮したフランシス、デイ、カザリン、ヘツプバーン　ジョン、ベネツト、ジーン、パーカー等皆好ましい動きを見せてゐる就中次女ジョウに扮したヘツプバーンの個性の强さと、末女ベスに扮したジーン、パーカーの可憐さが印象に殘る名手ヘンリージエラードのキヤメラも、よき雰圍氣の構成に貢獻してゐる（N生）

（六）
（第三種郵便物認可）
昭和十年三月二十一日
新京日日新聞
（火曜日）
武將物語 謙信と信玄 菊池寛
戰國武將の双璧は巨匠菊池の名筆に躍動！
壯烈古今に絶無！
至誠奉公
詩吟を盛にしませう
世界偉人 龍中齋虎丸の巻
時事問題早わかり
芝居・小說・事業の話 小林一三
漫談 徳川夢聲
梅幸の死と菊五郎
當代日本人物素描 西園寺公望 鶴見祐輔
評判小說 大いなる朝 牧逸馬
犯罪探偵 化の皮をはぐ話
英雄偉人感激の手紙集
リンカーンが母に若者が送った手紙
グラント將軍戰地より愛兒への手紙
ナポレオンが陣中より如何に愛妻に送った手紙
ベートーヴェンが二人の弟へ與へた遺書
東京昔話
綺る金する物語 川崎卓吉
吉屋信子
現代小說 双鏡 吉屋信子
驚嘆の大內容
キング 四月特大號
彼が一旗擧げるまで
時代小說 さむらひ鵙
探偵小說 幽靈賊
時代小說 異變黑手組
讀切小說傑作選
時代小說 時雨傳八 林不忘
現代小說 珠は碎けず 加藤武雄
時代小說 鬼伏せ頭巾 村上浪六
長篇講談 豪快剛太郎 神田越山
現代小說 街の姫君 菊池寛
掛合漫才競演會
東海の佳人 白井喬二
民謠情話 關の五本松 原巖
大懸賞
先生方が 試驗と勉強の急所公開 座談會
定價五十錢
大日本雄辯會講談社
陸軍省及び大山家の祕材により大戲曲成る！
元帥大山巖 吉田絃二郎
大山元帥を始め兒玉大將、乃木大將、福島中將、井口、田中義一、尾野大將等十數名の智將猛將が登場して興味深甚！
奉天の大戰を前に陣中凄壯の光景、息もつきあへず！！
前號大評判殘らず賣切
本號いよいよ大飛躍
日の出 四月號
誌界空前 名士リレー問答會
難問、妙答、トテモ面白い
職場で拾つた話
長篇實話 青蠅のお蝶 三角寛
金儲けの極意 橋本鄕見
万巻の金儲本もこの一篇に及ばず
妖棋傳 角田喜久雄
見よ！新人の力作現はる！！ 新掲載・長篇時代小說！！
露國將校の手記 奉天敗走記
猛獸國探檢
月に立つ虹
明治大盜傳
日の出小判
戀の海峽
新巖窟王
翼の誓ひ
江戶の坩堝
讀切傑作集
狐鼠ごろ染吉 土師清二
殺人往來 大下宇陀兒
首切り問答 佐々木邦
物言はぬ花嫁 竹田敏彥
新編忠臣藏 吉川英治
夜來の花 三上於菟吉
定價五十錢
新潮社
整骨治療 今辨慶療院
開花
更科 きそば
大阪商船株式會社
北日本汽船

法燈の影搖らぐ！
新京西本願寺を繞る寺院門徒間の軋轢
問題が問題だけに注目さる

日露戰爭直後の長春に開教の叫びをあげてより星霜茲に三十年、今では門徒一千を擁する新京西本願寺に端なくも寺院と門徒總代間に面白からざる間隙を生ずるに至り問題が問題だけに各方面の注目をひいてゐる

長春が新京と改稱滿洲國の首都と貸められてよりの

一大 飛躍に鑑みて西本願寺は將來市街の中心地帶と目せられる南新京驛前に一萬五千坪の廣大なる土地を購入し五十萬圓の巨費を投じて東洋の粹を集めた大伽藍を建築することに決定した、此の計劃は怪僧大谷光瑞氏の發意であり土地購入費の十五萬圓は昨年九月以來數回に亘つて拂込み本年三月を以て完す結るに至り本建築竣工までには三四年の

日子 を要すべく其の間の假堂建築費用を現市內祝町の寺の敷地を賣却して當てる事に滿洲の總本山たる大連別院に於て決定し一月末同問題を提げて來京門徒總代を集めて協議したが總代の中には事のあまりにも順序を無視し謂ば獨斷專行的なるに心よからざるものありて向背相なかばし決定を見るに至らなかつたものである

お寺の移轉は今のところ困る
門徒總代天野氏談

右問題に關し門徒總代の一人である老松町天野恒三郎氏は語る

自分は賛成の調印は見合せてゐる、南新京驛の方へ

御寺 を持つて行かれては今のところ非常に不便であり時期尚早であると思ふ、今の寺院の敷地は門徒から寄附したものであるから今更とやかく云ふのではないが總代の中には感情問題もあるやうに思ふ、事お寺に關する問題であるから圓滿に纏めたいものだ

冗談ではないすべてがデマ
光岡慈昭師語る

新京西本願寺對門徒總代の問題に關し同寺院光岡慈昭師は語る

何か噂があればそれはデマでしやう南新京驛前に

新築 するのは事實ですでに土地の購入も終り代金の支拂も終つてゐます、寺院は約五十萬圓で東洋の粹を集めた代表的建築とする計劃です、總ては光瑞師がなされたものでこの費用は金が本山から支出することに昨年決定してゐます、何この敷地を賣つて建築費にあてるかつて冗談でありません、御承知の通り西本願寺は門徒と寺院の合議制になつてゐるので寺院が勝手に何事も出來るわけはありません、門徒とよく御相談した上ですべてを行ふことになつてゐます、南廣場の方へ新しい

建築 が出來ても只今の寺はそのまゝ殘して置くことになつてゐます、決して門徒に御迷惑はかけぬ筈です

横領犯人逮捕

本籍石川縣江沼郡生れ植村松吉（二六）は奉天省昌圖縣八面城賀商寧佐市方店員として傭はれる中、三日店主より國幣三百圓を金票に兩替をいひつかり四平街に出て來たまゝ三百圓を横領新京に來り東明美福、赤玉等にて遊興に費消し市內千島町某友人宅に潛伏中を十一日午後三時頃新京署谷本刑事に取押へられた

オヴアー泥捕まる

十一日午前二時頃新京署谷本刑事、呂巡捕が市內東四條通二十番地附近を密行中カワウソ襟付オーヴアー及び紺色オーヴアーを所持せる擧動不審の一滿人を發見誰何するや矢庭に逃走を企てたので追跡逮捕本署に連行取調べると此奴は錦州縣生れ高水海（二七）で十日午後六時三十分頃城內西二馬路高魁方居住徐和方に忍び込み前記オーヴアー二着を窃取したことを自白したが餘罪ある見込にて嚴重取調べ中

待合室トンビ遂に御用

最近新京驛待合室に於て旅客の荷物が頻々として盜難にかゝり所轄新京署にては犯人逮捕に苦心中漸く取押へた—十一日午前六時頃新京署谷本刑事、呂巡捕が市內祝町四丁目附近を密行中擧動不審の支那人を發見本署に引致取調べた所本籍河北省生れ住所不定王樹林（二四）で去る二月二十一日午後五時頃九台縣參事が新京驛にて切符購買中毛皮裏付オーヴアーを窃取したのを手始めに驛待合室にて手當り次第に旅客の小荷物を窃取せしことを自白したが彼は窃盜前科三犯の强かもので目下餘罪取調べ中

皇帝御訪日記念スタンプ

皇帝陛下新京御發當日たる四月二日及御歸途大連御通過新京御着當日たる四月二十三日並各其の後三日間旅順、新旅順、大連中央、沙河口、大連星ヶ浦、營口、鞍山、遼陽、撫順、奉天、鐵嶺、開原、四平街、公主嶺、新京、安東の各郵便局又內地に於ては御滯在地の一二等郵便局及御巡遊地の集配郵便局で各其の地御旅行當日等に於て押捺することゝなつてゐるが種類は左記の如くである

△一錢五厘切手（鶯茶色）御召艦比叡と遼陽の白塔とを描き之に菊及蘭を配したるもの△六錢切手（焦茶色）右に同じ△三錢切手（紅色）御滯京の御旅館赤坂離宮を描き之に稻及高粱を配したるもの△十錢切手（青色）右に同じ（寫眞はスタンプ）

拂下地利用計畫書第二回提出延期願
國都建設局の措置注目さる

反消運動の餘波として注視の的となつてゐた國都建設局拂ひ下げにかゝる新發屯商店街土地の利用計畫書提出延期願ひは十一名の連署を以て阮國都建設局長の許に提出したことは既報の通りであるが、その後新たに十四名の署名を得十一日午後第二回建築延期願を第一回同樣阮國都建設局長の許に發附した、この他個人として同樣延期願ひを出したものも相當あるから、これで地元新京關係のものは半數以上に達するものとみられ、これに對し當局は規定の如く六月一日までに利用計畫書を提出しない場合は拂ひ下げ土地の沒收を敢行するか否か建設局の態度は注視されてゐる

風のあとまた晴

疾風黃塵を捲いて萬丈—きのふの風速は午後四時に十メートル六、今年は勿論のこと昨年に比較して一ヶ月半以上も氣候の轉換がはやく、毎年四月ごろから强風に襲はれ黃塵に惱まされる國都も今年はこれからきのふのやうな天候がつづくものと思はれる、きのふ午前十一時ごろハルビン北方にあつた七五六ミリの低氣壓が漸次東進し、七七〇ミリの高氣壓は上海にありこれも東に進んで新京附近はその間に挾まれてゐるから風は大連邊より北にゆく程强く、この風の後には再び快晴の天候に惠まれる模樣である

王道學會 十二日午後六時半第二回講義

王道學會第二回孟子講義は十二日午後六時三十分から記念公會堂で開催未だ聽講手續きをなさぬ者でも當日會場で申込めば受付ける由

東二條のボヤ

東二條通り五十番地二條アパート二階永洞洋三氏妻セイさんは十一日午後二時ごろストーブに焚きつけるため揮發油をあつかつてゐたが誤つて揮發油に火がつきセイさんは直ちにフトンをかむせ、上から水をふりかけ三十分で消防隊で漸く消し止めた

日滿卓球大會打合せ

第二回日滿對抗卓球大會は來る十七日商業學校內で開催される豫定でこれが準備のため十一日午後四時半から地方事務所で同大會幹事會を開き出場チーム、當日の設備その他につき打合せた

八島校父兄發起人會

本年一月開校した八島小學校の父兄會發起人會は十一日午後三時より同校に於て開催された、出席者小澤氏外十七名にて二時間に亘り熱心に討議し愈々創立に決し來る十七日午前十時より創立總會を開くことにし午後五時散會した

陸軍記念日當日に金百圓を獻金
一紳士が鄕軍第一分會へ

有意義な第卅回陸軍記念日當日午後二時半頃吉野町の在鄕軍人第一分會事務所に三十五六才の紳士が訪れ「甚だ些少ですが國防費の一端に」と金百圓を差出し名前も告げず立去つたので、分會事務所では此奇篤な行爲に痛く感謝し早速傳達の手續をとることになつた

藤影幼稚園終業式

新京西本願寺藤影幼稚園の終業式は十五日午前十時より行はれるが終業した園兒は四十五名である

滿鐵消組理事選擧を繞る二つの流れ
社員會の一部に强硬論出づ
けふ興味ある投票

滿鐵消費組合新京支部理事改選は十二日午後一時から六時まで同組合事務所で投票、十三日午後一時開票される、理事定員は從來一名のところ二名に增員され十八名の評議員によつて選擧されることになつてゐるが、社員聯合會の一部では消費組合役員は社員會役員によつて占めるが本体であるとの建前から右理事二名も當然社員聯合會の役員を選擧せよと現社員會聯合會長中山恕世（鐵事旅務長）同幹事羽根友治（保安區長）の兩氏をあげ目下極力運動中で現に吉田幹事（販賣事務所）の名によつて各方面に飛檄されたが、從來地方事務所長を以てしてゐたのを、新たに二理事とも鐵道關係によつて占めることについては相當異論あり、結局今後の對外關係など考慮して中山氏とともに武田地方事務所長を推すが至當であらうとの說が最も有力で、選擧の結果は右兩氏に落着くと見られてゐるが、理事選擧をめぐつてかゝる二つの流れがあることは誠に注目すべきである

遺失品届出車夫表彰

首都專用馬車人力車營業組合では乘客の遺留品は警察署か同組合に届出た者に對しては賞金を與へ届出を奬勵してゐるが、城內臨河大街二號車体番號第四〇二四九號車主兼車夫侯士昌（三二）は十日滿洲國軍人某の遺留したモーゼル拳銃二挺實彈を南關警察署に届出たので組合では善行表彰狀並に賞金銀拾圓を與へて之を表彰した、なほ十一日も男子用ハカマ二、菓子函、ハンドバック一箇（吉塚寫槃と記入しある傳票在中）届出あり心當りの方は申出られ度いと

治法撤廢に備へ刑事講習會開始
着々と充實する首都警察

附屬地の治外法權撤廢を目睫に控へ滿洲國首都警察廳では荒井司法科長着任以來司法科の內容充實に努力をつくしてゐるが司法科の內容充實は先づ最も優秀なる刑事の養成にありとし今回管下警察署より最も優秀なる滿人警官十二名を選拔し三ケ月間同廳內に於て刑事講習會を催すことになり十一日午前十時これが開講式を擧行した講習科目は一日午前中は學科を午後は實地について訓練を行ふものでその成果は各方面より尠らず期待されてゐる、此の刑事講習は今後連續的に行ひ全警察官に及ぼすものであると、右につき荒井司法科長は語る

今度の刑事講習はとかく不評判の警察官の素質向上と近く行はれるであらう治外法權撤廢に備へるため最も優秀なる警察官を養成するためだ、期間は三ケ月で今後連續的に全警官に及ぼす考へだ、その成果には自信をもつてゐる、暫時靜觀してゐて貰ひたい

電々第二回株主總會

滿洲電信電話株式會社では來る二十八日記念公會堂において山內總裁をはじめ三多副總裁、井上、前田、西田その他各重役出席し第二回定時株主總會を開催し昭和九年度決算の承認を求めるが同時に新社債募集承認の件も附議される模樣である 因みに昭和八年度の利益金は九月から十二月まで四ケ月間で八十三萬九千餘圓であつたが九年度は三百萬圓に達する見込である、なほ株主配當は六朱据置

滿人家屋五棟一瞬に燒失！
昨日鐵道西の大火

風速十メートルの强風が吹き狂つたきのふ、火災事件二件—十一日午後一時四十分ごろ鐵道西廢線地三十一號王西秋宅から發火、火はまたゝくうちに延燒滿人家屋五棟四十戸一物殘さず燒つくし、消防署及び消防隊の活動で同二時三十分ごろ鎭火した、なほすぐ隣家には高岡組員登根秋興氏（二九）、中央興信所員高橋正義氏（五〇）の兩家があり數回飛火したが危く喰ひとめた別に人畜の被害なし、原因損害は目下取調べ中（寫眞は同火災）

村田部隊けふ新京凱旋

京圖線に出動中の村田部隊は十二日午前六時五十分新京着凱旋するはず

宇佐美局長來京

鐵路總局長滿鐵理事宇佐美寬爾氏は十日午後十時三十分新京着はとで來京

酒井雲十二日來京

文藝浪曲界の創始者酒井雲師は十二日午前七時大連より來京同夜記念公會堂にて講演の筈であるが、後援會員は出來るだけ驛頭まで出迎してもらひたい 向ほ後援會に於ては同師歡迎宴を十三日午後五時より（場所未定）開催豫定で出宴希望の向は電話四八三九番加藤宛至急申込まれたいと、詳細は追て發表の筈

女人婆羅門（八十九）

長田秀雄

（讀上演映畫化）　西正世志畫

片つぼみ（五）

一夜明けると、婆羅門お藤と西山聖庵は下部温泉を出發した。

宿屋で整へた身支度で、古着ながらお藤はすつかり見違ふ程美しい姿になつて居た。

甲府に落着くと云ふ話が決つて山駕籠は、嶮阻な山路を越え、谷間に下り、名も無い宿に入つては駕籠を繼ぎ變へ、駕籠の無い宿では馬を傭つて、甲府に入つたのはそれから二日の後だつた。

聖庵は、甲府勤番の御士族の別邸で、甲府愛宕町に小ぢんまりした家を借りて居たので、お藤と一緒にそこに住む事になつた。

お藤は、閾を跨ぐ時、標札をチラと眺めて、

「野澤金十郎——と書いてある。これ貴方の假名なの」

「うん、野澤金十郎——どうだ。悪黨らしい名前だらう」

「『四千兩小判梅香』と云ふ芝居みたいだねえ」

「あれは藤十郎だ」

稼業は醫業だが、患家が一月に二人や三人では立行かなかつたので、人の吉凶を占ふ賣卜業を始めると、狹い釜底のやうな町ながら大通りなので一日に一人や二人は客が來たので、地道に暮して居ると、朝夕に事を缺ぐやうな事はなかつた。そして久しぶりの堅氣な暮らしが、お藤には却て樂しかつた。

いつしか青葉の頃も過ぎ、蒸暑となり、年はめぐつて、再び[illegible]に團扇の眞夏となつた。八月も末の事、お藤は葛餅など練つて、

「金さん、——如何！」

聖庵の金十郎は、稼業からの總髮を冠つたまゝ店頭に出てゐたが

「有難う——葛餅とは嬉しいな、冷つこいお茶でも淹れねえか」

「冷たいお茶が飲みたけりや、甲府にも、近頃氷水屋が出來てゐるから、氷水でもお上りよ」

「えつ、氷が」

聖庵は驚いた。

夏の氷と云へば、今日こそ珍らしくはないけれど、當時として眞夏に氷のあることは奇蹟に近かつた。

「それぢやその氷でも頰張らうか」

「あい——今買つてくるから」

お藤は出て行つた。

人造氷に就ては、慶應四年閏四月版の遠近新聞第四號に辻理之介譯のアンモニア液製造法の書かれた事が、世に現はれた最初であらう。しかし、これを實際に製造したのは、明治三年五月、福澤諭吉が熱病に罹つたとき、松平春嶽侯が外國から買入れた製氷器械を借入れて、大學東校の教授宇都宮三郎に託し、人造氷を作つたのが最初である。

また、維新前、江戸にも氷屋といふものがあつたが、それは吹飴細工の屋臺みせのやうな屋臺に、白玉と[illegible]とを飾つて、一方には水を入れた手桶を天秤にかけ、行商したもので、氷屋とは全然異つてゐた。

「江戸年中行事」に、六月一日加州侯の雪獻のことがある。駒込の氷室に貯つた氷塊を將軍家に獻上するもので、その餘分を通行人に施した。東京に氷塊の賣られた始めは、明治四五年頃であつて、その前、横濱の開港間もなく、米人が合衆國ボストンから氷を輸入して大利を占めたのを、中川嘉兵衛といふ者が見て、それに着眼し、富士裾野、諏訪湖、奥州南部、函館から天然氷を切り出して、諸方に發賣した。それが文久二年夏のことで、天然氷の始めであつた。

東京で氷水店の出現したのは、明治四五年頃、雷門、廣小路其他の[illegible]所で賣出されたのが最初である。

——お藤は、その天然氷を珍らしさうに持つて來た。

「さ、溶けないうちにお上りよ」